



# RICOH カンタンバーコード活用

## 使用説明書

---

ご使用の前に、本書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、本書が必要になったとき、すぐに利用できる  
ように保管してください。

## ■ はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

株式会社 リコー

東京都大田区中馬込 1-3-6 〒143-8555

<http://www.ricoh.co.jp/>

# 目次

|                                     |           |
|-------------------------------------|-----------|
| この本の読みかた .....                      | 3         |
| マークについて .....                       | 3         |
| おことわり .....                         | 4         |
| 商標 .....                            | 5         |
| 略称 .....                            | 5         |
| <b>1. はじめに</b> .....                | <b>6</b>  |
| カンタンバーコード活用の概要 .....                | 6         |
| 読み取り可能なバーコード .....                  | 11        |
| 動作環境 .....                          | 12        |
| <b>2. カンタンバーコード活用を起動する</b> .....    | <b>13</b> |
| トップ画面 .....                         | 13        |
| 設定画面の操作 .....                       | 15        |
| 各機能の操作権限 .....                      | 15        |
| <b>3. 業務ボタンを登録／編集する</b> .....       | <b>16</b> |
| 管理メニューを表示する .....                   | 16        |
| 業務ボタンを登録する .....                    | 17        |
| ファイル名の付け方を設定する .....                | 30        |
| 単語帳を設定する .....                      | 31        |
| 業務ボタンの設定を変更する .....                 | 36        |
| 業務ボタンを削除する .....                    | 37        |
| <b>4. 業務ボタンを使う</b> .....            | <b>38</b> |
| 業務ボタンを使ってスキャンする .....               | 38        |
| <b>5. 設定</b> .....                  | <b>41</b> |
| 管理者認証設定 .....                       | 41        |
| インポート／エクスポート .....                  | 42        |
| カンタンバーコード活用の設定をインポート／エクスポートする ..... | 42        |
| アプリケーションの利用ログをエクスポートする .....        | 45        |
| OSS ライセンスとアプリケーションのバージョンを確認する ..... | 48        |
| <b>6. こまったときは</b> .....             | <b>49</b> |
| エラーメッセージ .....                      | 49        |
| エラー文字列 .....                        | 61        |
| バーコードが読み取れないとき .....                | 62        |

---

|                         |    |
|-------------------------|----|
| バーコードの読み取り速度が遅いとき ..... | 62 |
|-------------------------|----|

|             |    |
|-------------|----|
| 7. 付録 ..... | 63 |
|-------------|----|

---

|                        |    |
|------------------------|----|
| 初期設定.....              | 63 |
| 業務ボタン .....            | 63 |
| 管理メニュー .....           | 66 |
| 対応原稿サイズ.....           | 66 |
| 制限事項.....              | 67 |
| 環境 .....               | 67 |
| 複合機の標準機能との差異について ..... | 67 |
| 複合機の機種による違い.....       | 68 |
| その他.....               | 68 |
| お問い合わせ先.....           | 71 |

---

# この本の読みかた

---

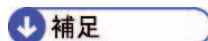
## マークについて

---

本書で使われているマークには次のような意味があります。



操作するときに注意していただきたいことや、制限事項などを説明しています。必ずお読みください。



知っておくと便利な情報や、補足的な操作方法などを説明しています。



参照先を示します。

[ ]

機器の操作画面およびコンピューター画面上の項目やボタンの名称を示します。

『 』

本書以外の分冊名称を示します。

---

## おことわり

- 本製品の故障による損害、文書やデータの消失による損害、その他本製品および使用説明書の使用または使用不能により生じた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- 大切な文書やデータは、コピー（複製）をとってください。お客様が操作をミスした場合、あるいは本製品に異常が生じた場合、文書やデータが消失することがあります。また、コンピューターウイルス、ワーム、その他の有害なソフトウェア等に対する予防措置は、お客様の責任で講じてください。
- 本製品の故障による損害、文書やデータの消失による損害、その他本製品の使用により生じた損害について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- 機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の製品とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

---

## 商標

- Adobe®、Acrobat®は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Server®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SD および SD のロゴは、SD-3C, LLC の商標です。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

## 略称

本書では、簡素化のため下記の略称が使われています。

| 名称                        | 本文中の名称      |
|---------------------------|-------------|
| RICOH カンタンバーコード活用         | カンタンバーコード活用 |
| 1次元バーコード、2次元バーコード（QR コード） | バーコード       |

# 1. はじめに

## カンタンバーコード活用の概要

1

カンタンバーコード活用を利用してスキャンすると、スキャン原稿（図面や作業指示書、各種帳票などの紙文書）に印字されているバーコードを読み取り、スキャンした画像データと読み取ったバーコードの情報を合わせて保存できます。

スキャン設定（スキャン条件、送信先、読み取り対象バーコード、ファイルの保存形式）を“業務ボタン”に登録しておくことができ、スキャンする際に業務ボタンひとつで簡単に設定し、スキャンを実行することができます。

スキャンした画像データと読み取ったバーコード情報は、以下のいずれかの方法で保存できます。

### ① バーコードの情報を画像データのファイル名として保存する：

読み取ったバーコードの情報を、画像データのファイル名として保存します。

ファイル名は、設定によって“読み取ったバーコードの文字列”、“日付時刻”、“連番”などを組み合わせることができます。

例：



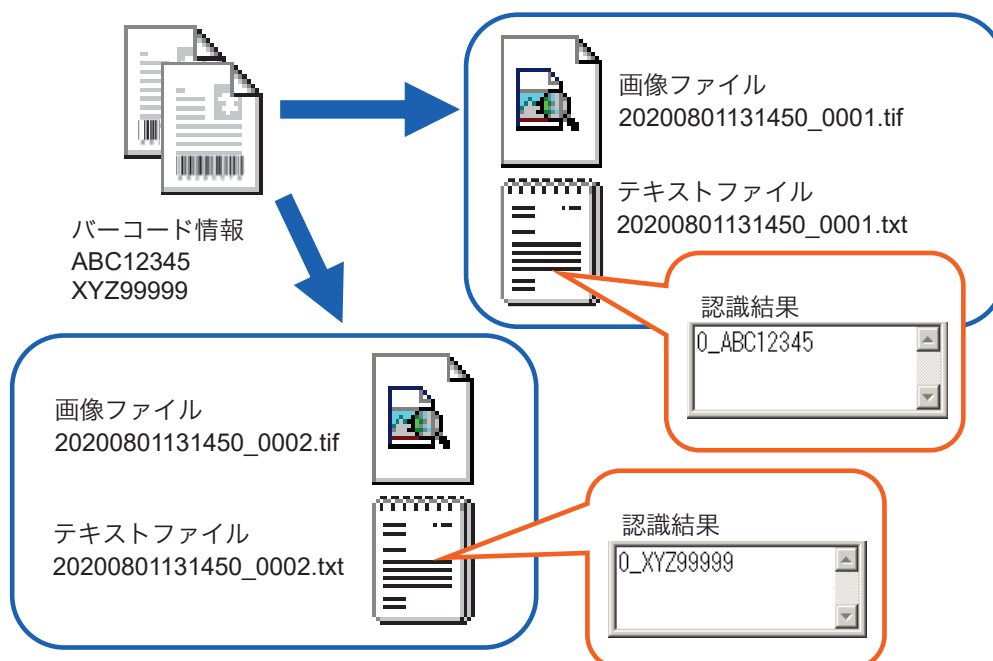
## ② 画像データと、バーコード情報のテキストファイルを保存する：

読み取ったバーコードの情報を、画像データとテキストファイルに保存します。テキストファイルは、メタデータとして別のシステムに取り込むことができます。

ファイル名は、設定によって“読み取ったバーコードの文字列”、“日付時刻”、“連番”などを組み合わせることができます。

複数枚の原稿から複数のバーコードを読み取った場合、読み取ったバーコード情報ごとにテキストファイルが作成されます。

例：ファイル名が“日付時刻\_連番” のとき



### ③ 画像データと、バーコード情報の CSV ファイルを保存する：

読み取ったバーコードの情報を、画像データと CSV ファイルに保存します。

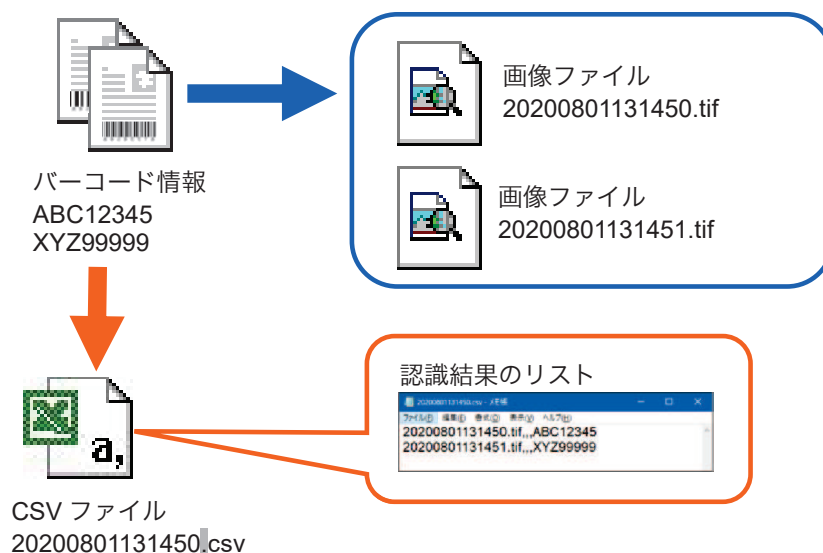
CSV ファイルに出力する内容は、“バーコード全体”、“バーコード分割（分割したバーコードの何番目を抽出するか）”、“日付時刻”、“画像ファイル名”、“空文字” から指定できます（各情報は、カンマで区切られます）。

CSV ファイルに出力した情報は、メタデータとして別のシステムに取り込むことができます。

ファイル名は、“日付時刻” となります。

複数枚の原稿から複数のバーコードを読み取った場合、読み取ったバーコードの情報をまとめて1つの CSV ファイルに保存します。

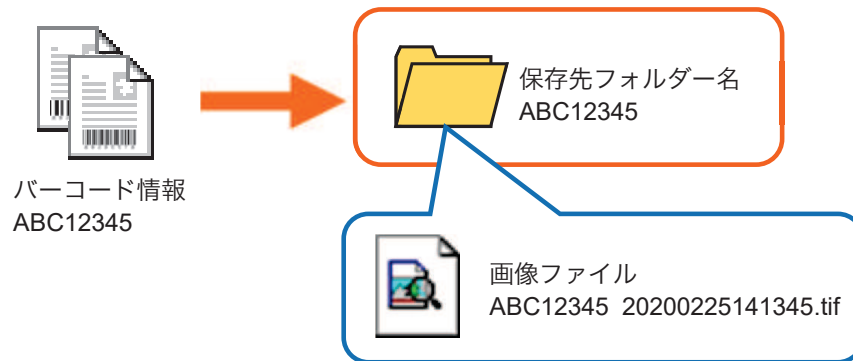
例：“バーコード全体” を出力するとき



#### ④ 画像データと、保存先のフォルダー名として保存する：

読み取ったバーコードの情報を、画像データと、保存先のフォルダー名として保存します。

例：

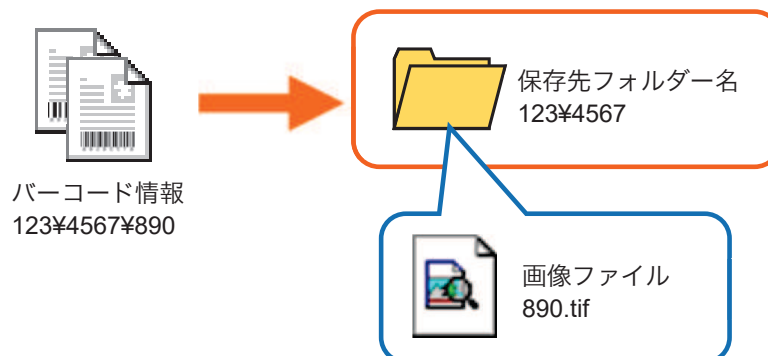


#### ⑤ 画像データと、保存先のフォルダー名とファイル名として保存する：

読み取ったバーコードの情報を、画像データと、保存先のフォルダー名とファイル名として保存します。

読み取ったバーコードの情報を「¥」で区切り、最後の区切り文字の直前までをフォルダー階層のパスとし、最後の区切り文字以降の文字列をファイル名として保存します。

例：



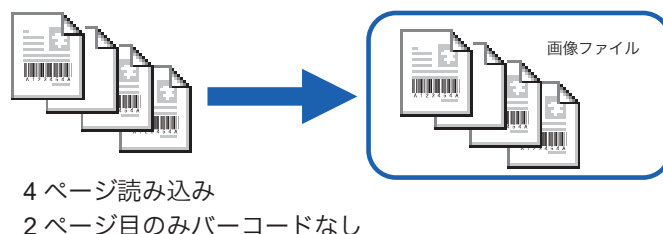
#### 目 参照

- ファイル名の付け方の詳細については、P.30「ファイル名の付け方を設定する」を参照してください。

スキャンした画像データのファイルの区切りを設定することもできます。

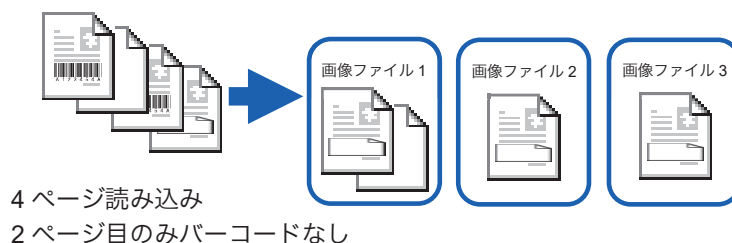
### ① ファイルを区切らずに保存する：

原稿の1ページ目のみバーコードを読み取り、すべての原稿を区切らずに1つのファイルとして保存します。

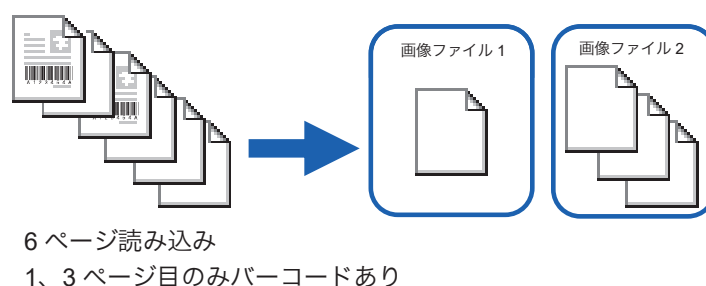


### ② バーコード出現ごとに区切る：

スキャン原稿にバーコードが出現するごとにファイルを区切って保存します。

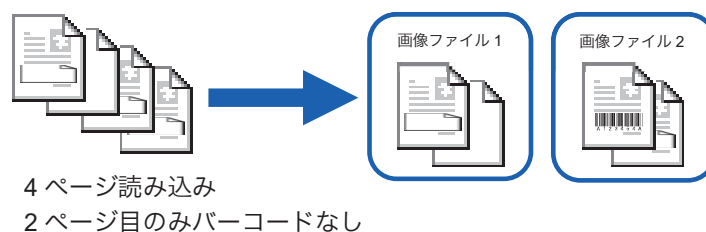


「合紙削除」が「する」に設定されているときは、バーコードが出現するごとにファイルを区切り、バーコードを含むページの画像は合紙として削除して保存します。



### ③ 指定したページ数で区切る：

指定したページ数ごとにファイルを区切って保存します。バーコードの有無に関わらず、指定した区切りの先頭のページのバーコードを読み取ります。



## ↓ 補足

- 読み取り可能なバーコードは、原稿 1 ページにつき 1 つです。
- 原稿 1 ページに複数のバーコードが含まれているときに、1 つ目のバーコードの読み取りに失敗した場合は、2 つ目以降のバーコードを読み取り、出力することがあります。
- バーコードの情報をテキストファイルに保存するときに、バーコード情報の出力に成功した場合は、バーコードの文字列の先頭に“0\_”が付加されます。
- バーコード情報の出力に失敗した場合は、読み取ったバーコードの文字列に“エラー番号\_エラー文字列”が出力されます。エラー番号とエラー文字列については、P.61「エラー文字列」を参照してください。
- バーコードの情報をファイル名またはフォルダー名、または CSV ファイルに保存する場合、Windows でファイル名、フォルダー名として利用できない文字や制御文字は、禁則文字として“\_”（アンダースコア）へ置換されます。

## 読み取り可能なバーコード

### ① 1次元バーコード

○：できる、×：できない

| 種類       | 数字 | 英字／記号 | スタート／ストップ<br>コード出力 | チェックデジット |
|----------|----|-------|--------------------|----------|
| JAN      | ○  | ×     | ×                  | 必須       |
| ITF      | ○  | ×     | ×                  | 有／無      |
| NW-7     | ○  | ×     | ○<br>(A、B、C、D)     | 有／無      |
| CODE39*1 | ○  | ○     | ×                  | 有／無      |
| CODE128  | ○  | ○     | ×                  | 必須       |
| EAN128*2 | ○  | ○     | ×                  | 必須       |

\*1 フルアスキーバーコードには対応していません。

\*2 料金代理収納用バーコード（UCC/EAN128）には対応していません。

### ② 2次元バーコード：QR コード

## ↓ 補足

- バーコードの情報をファイル名または CSV ファイルに保存する場合、Windows でファイル名、フォルダー名として利用できない文字や制御文字は、禁則文字として“\_”（アンダースコア）へ置換されます。
- スタート／ストップコードとチェックデジットは、バーコード文字列として出力するかどうかを設定できます。

**出力例：**

NW-7 チェックデジット付きバーコードの文字列をファイル名に出力する場合



- ① スタート／ストップコード出力あり、チェックデジット出力あり  
出力結果：「A123454A\_20070222180630\_0001.tif」
  - ② スタート／ストップコード出力なし、チェックデジット出力なし  
出力結果：「12345\_20070222180630\_0001.tif」
- スタート／ストップコードとチェックデジットをバーコード文字列として出力する設定の場合でも、以下はバーコード文字列として出力できません。
    - CODE39 のスタート／ストップコード（ファイル名への出力）
    - CODE128 と EAN128 のチェックデジット

**目 参照**

- スタート／ストップコードとチェックデジットの出力設定については、P.17「業務ボタンを登録する」の手順 9 を参照してください。

## 動作環境

カンタンバーコード活用は、下記の動作環境で利用できます。

**複合機**

カンタンバーコード活用が動作する機種

**スキャンデータ送信先**

Windows Server 2016 Standard/Essentials

Windows Server 2019 Standard/Essentials

Windows Server 2022 Standard/DataCenter

Windows 10 Pro/Home/Enterprise

Windows 11 Pro/Home/Enterprise

**↓ 補足**

- 対応複合機と最新の動作環境については、リコーのホームページを参照してください。

## 2. カンタンバーコード活用を起動する

### 1. 複合機のホーム画面で、[カンタンバーコード活用] を押します。



カンタンバーコード活用のトップ画面が表示されます。

#### ↓ 補足

- 以下の場合は、本アプリケーションを利用できません。機器管理者にお問い合わせください。
  - 複合機の [アプリケーション別認証管理] でスキャン機能の利用を制限されている
  - 複合機の [アプリケーション別機能制限] で、スキャナーのいずれかの機能が制限されている
- [起動時優先画面表示] が [する] に設定されているときは、カンタンバーコード活用を起動すると、業務ボタン 1（左上のボタン）のスキャン実行画面が表示されます。トップ画面を表示するには、[戻る] を押してください。

#### 📖 参照

- [起動時優先画面表示] 設定については、P.17 「業務ボタンを登録する」の手順 3 を参照してください。

## トップ画面



| No. | 項目      | 説明                                                                            |
|-----|---------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 業務ボタン一覧 | 業務ボタンを選択すると、各ボタンに登録されている設定（スキャン条件、送信先、読み取り対象バーコード、ファイルの保存形式）で、スキャンデータを保存できます。 |

| No. | 項目                                                                                       | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     |                                                                                          | <p><b>↓ 補足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 業務ボタンに登録されている設定を変更してスキャンすることもできます。詳細については、P.38「業務ボタンを使ってスキャンする」を参照してください。</li> <li>• 6個の業務ボタンに、それぞれ設定を登録できます。</li> <li>• 複合機が“ユーザー認証あり”に設定されているときに、機器管理者としてログインすると、業務ボタンを使用できません。詳しくは、P.15「各機能の操作権限」を参照してください。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 2   |  管理メニュー | <p>以下を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 業務ボタンの登録／編集／削除</li> <li>• 単語帳の表示／インポート／エクスポート</li> <li>• カンタンバーコード活用の設定のインポート／エクスポート</li> <li>• 利用ログのエクスポート</li> <li>• 管理者認証設定</li> <li>• OSS ライセンスとアプリケーションのバージョンの確認</li> </ul> <p><b>目 参照</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 業務ボタンの登録／編集／削除については、P.16「業務ボタンを登録／編集する」を参照してください。</li> <li>• 単語帳の表示／インポート／エクスポートについては、P.31「単語帳を設定する」を参照してください。</li> <li>• カンタンバーコード活用の設定のインポート／エクスポートや利用ログのエクスポートについては、P.42「インポート／エクスポート」を参照してください。</li> <li>• 管理者認証設定については、P.41「管理者認証設定」を参照してください。</li> <li>• OSS ライセンスとアプリケーションのバージョンの確認については、P.48「OSS ライセンスとアプリケーションのバージョンを確認する」を参照してください。</li> </ul> |

## 設定画面の操作

各画面に表示される共通ボタンを説明します。

| ボタン                                                                                                                                                                   | 説明            |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
|  /  | 前／次の画面を表示します。 |
|                                                                                      | 設定をキャンセルします。  |
|                                                                                      | 設定内容を確定します。   |

### ↓ 補足

- 表示されるボタンは、画面によって異なります。

### 📖 参照

- ソフトキーボードの操作については、複合機の使用説明書を参照してください。

## 各機能の操作権限

複合機のユーザー認証設定によって、各機能の操作権限が異なります。

○：できる、×：できない

| 操作                          | ユーザー認証あり |       | ユーザー認証なし |
|-----------------------------|----------|-------|----------|
|                             | ログインユーザー | 機器管理者 |          |
| 業務ボタンの使用／編集／削除<br>処理の実行     | ○        | ×     | ○        |
| 管理者認証番号設定                   | ○        | ○     | ○        |
| 単語帳の表示／インポート／エ<br>クスポート     | ○        | ×     | ○        |
| アプリケーション設定のイン<br>ポート／エクスポート | ×        | ○     | ○        |
| 利用ログのエクスポート                 | ×        | ○     | ○        |

### ↓ 補足

- 複合機で、スキャン機能の利用を制限されている場合は、本アプリケーションは使用できません。

### 3. 業務ボタンを登録／編集する

業務ボタンの登録／編集／削除は、[⚙ 管理メニュー] から行います。

## 管理メニューを表示する

### 1. トップ画面の [⚙ 管理メニュー] を押します。



#### ↓ 補足

- 管理者認証が有効に設定されているときは、管理者認証番の入力画面が表示されます。手順2へ進んでください。無効に設定されているときは、[管理メニュー] 画面が表示されます。

#### 目 参照

- トップ画面の表示方法については、P.13「カンタンバーコード活用を起動する」を参照してください。
- 管理者認証については、P.41「管理者認証設定」を参照してください。

### 2. 管理者認証番号を入力して、[OK] を押します。

[管理メニュー] 画面が表示されます。

#### ↓ 補足

- 管理者認証番号の初期値は、“0000”です。

# 業務ボタンを登録する

スキャン設定（スキャン条件、送信先、読み取り対象バーコード、ファイルの保存形式）を、業務ボタンに登録します。

## ↓ 補足

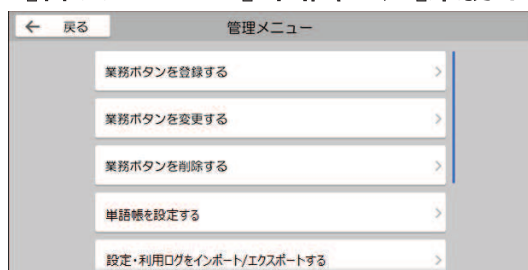
- 6 個の業務ボタンに、それぞれ設定を登録できます。

## 目 参照

- 業務ボタンの設定は、登録後に変更できます。変更方法については、P.36「業務ボタンの設定を変更する」を参照してください。
- 業務ボタンの各設定項目の初期設定については、P.63「初期設定」を参照してください。

3

## 1. 「管理メニュー」画面で、「業務ボタンを登録する」を押します。



業務ボタン選択画面が表示されます。

## 目 参照

- 「管理メニュー」画面の表示方法については、P.16「管理メニューを表示する」を参照してください。

## 2. 設定を登録する業務ボタンを押します。



「業務ボタン名入力」画面が表示されます。

## ↓ 補足

- すでに設定が登録されている業務ボタンは選択できません。登録されている設定を変更する場合は、「管理メニュー」画面の「業務ボタンを変更する」から操作を行ってください。

## 目 参照

- 業務ボタンの設定変更については、P.36「業務ボタンの設定を変更する」を参照してください。

## 3. 業務ボタンの名称や起動時の優先画面表示を設定して、[次へ] を押します。

| 項目        | 説明                                                                                                     |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 業務ボタン名    | 業務ボタンの名称を設定します（必須項目）。<br>半角英数字 20 文字／全角 10 文字まで入力できます。                                                 |
| 起動時優先画面表示 | 業務ボタン選択画面で、業務ボタン 1（左上のボタン）を選択したときに表示されます。<br>[する] を選択すると、カンタンバーコード活用を起動したときに、業務ボタン 1 のスキャン実行画面が表示されます。 |

[スキャン条件設定] 画面が表示されます。

## 4. スキャン条件を設定して、[次へ] を押します。

各設定項目を押して、下記を設定します。

| 項目    | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 原稿サイズ | <p>スキャンする原稿のサイズを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [自動検知]：原稿サイズを自動検知します。</li> <li>・ [サイズ混載]：サイズの異なる（同じ幅で長さが異なる）複数の原稿のサイズを自動検知します。</li> <li>・ [不定形自動検知（同一サイズ）]：定形サイズ以外の原稿のサイズ（同一）を自動検知します。</li> <li>・ [不定形自動検知（サイズ混載）]：定形サイズ以外で、サイズの異なる（同じ幅で長さが異なる）複数の原稿のサイズを自動検知します。</li> <li>・ 各定形サイズ：指定した原稿サイズでスキャンします。</li> <li>・ 不定形サイズ：[不定形] を選択して、[タテ (mm)] と [ヨコ (mm)] にそれぞれ原稿のサイズを入力します。</li> </ul> <p><b>↓ 補足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [自動検知]、[サイズ混載]、[不定形自動検知（同一サイズ）]、[不定形自動検知（サイズ混載）] は A3 サイズ対応機種のみ対応しています。</li> </ul> |

| 項目      | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <ul style="list-style-type: none"> <li>• カンタンバーコード活用が対応している原稿サイズについては、P.66「対応原稿サイズ」を参照してください。</li> <li>• 複合機によって、設定できる原稿サイズは異なります。詳しくは、P.68「複合機の機種による違い」を参照してください。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 原稿セット方法 | <p>〔原稿サイズ〕で〔サイズ混載〕を選択したときに有効になります。サイズが異なる原稿のセット方法を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 同じ幅の原稿：幅が同じで長さが異なる原稿をスキャンするときに選択します。</li> <li>• 違う幅の原稿：幅が異なる原稿をスキャンするときに選択します。</li> </ul> <p> <b>補足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• お使いの機器が「原稿セット方法」に対応していない場合や、A4 サイズ対応機種は、この設定は表示されません。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 原稿種類    | <p>スキャンする原稿の種類を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• フルカラー（文字・写真）：文字および写真が混在した、カラー原稿に適しています。</li> <li>• フルカラー（印画紙写真）：銀塩写真やカラーイラストなどのカラー原稿に適しています。</li> <li>• フルカラー（光沢物）：光沢のあるカラー原稿に適しています。</li> <li>• グレースケール：グレースケールの原稿に適しています。</li> <li>• 白黒（文字）：OCR 変換ソフトウェアでの認識精度を上げるのに適しています。</li> <li>• 白黒（文字・図表）：文字を主体とした、白黒原稿に適しています。</li> <li>• 白黒（文字・写真）：文字および写真が混在した、白黒原稿に適しています。</li> <li>• 白黒（写真）：写真やイラストなどの白黒原稿に適しています。</li> <li>• フルカラー文字補正：文字を主体としたカラー原稿の文字を補正します。</li> <li>• グレースケール文字補正：文字を主体とした白黒原稿の文字を補正します。</li> </ul> <p> <b>補足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 〔共通設定〕の〔ファイル形式〕で〔TIFF〕が選択されているときに〔フルカラー〕または〔グレースケール〕を選択すると、ファイル形式を変更するかどうか確認するメッセージが表示されます（変更すると、ファイル形式は〔PDF〕になります）。</li> </ul> |

| 項目         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ドロップアウトカラー | <p>〔原稿種類〕で〔白黒（文字）〕または〔グレースケール文字補正〕を選択しているときに設定できます。<br/>ドロップアウトカラー（スキャンで読み取らないカラー）を指定します。</p> <p>↓ 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この機能は、A3 サイズ以下対応機種のみ対応しています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                    |
| 消去したい色の幅   | <p>〔ドロップアウトカラー〕でカラー（〔有彩色〕、〔レッド〕、〔グリーン〕、〔ブルー〕）を選択しているときに設定できます。<br/>ドロップアウトするカラーの幅を指定します。</p> <p>↓ 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この機能は、A3 サイズ以下対応機種のみ対応しています。</li> <li>〔Level1〕がもっとも幅が狭く、〔Level5〕がもっとも幅が広がります。</li> </ul>                                                                                                                                                                    |
| 解像度        | <p>スキャン解像度（〔200dpi〕／〔300dpi〕／〔400dpi〕）を選択します。</p> <p>↓ 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バーコードの読み取り精度を上げるため、〔400dpi〕を推奨します。</li> <li>以下の設定のときは、〔400dpi〕は選択できません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔原稿サイズ〕：〔A3〕</li> <li>〔原稿種類〕：〔白黒〕</li> <li>〔ファイル形式〕：〔JPEG〕</li> </ul> </li> <li>データサイズが大きくなる原稿（写真を含むなど）を〔400dpi〕設定でスキャンすると、メモリ制限によりエラーとなる場合があります。この場合は、解像度を下げてスキャンを実行してください。</li> </ul> |
| 濃度         | <p>スキャン濃度（7 段階）を設定します。</p> <p>↓ 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>〔自動濃度〕を選択すると、原稿の紙の特徴（白色でない原稿や裏写りする原稿など）を読み取り、濃度を補正します。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 原稿送り       | <p>原稿のセット方向を選択します。</p> <p>↓ 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複合機によって、設定可能なセット方向は異なります。詳しくは、P.68「複合機の機種による違い」を参照してください。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 原稿面        | <p>スキャンする原稿面（〔片面〕／〔両面（左右）〕／〔両面（上下）〕）を選択します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 原稿厚さ       | <p>原稿の厚さ（薄め、標準、厚め）を指定します。</p> <p>↓ 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お使いの機器が「原稿厚さ」に対応していない場合は、この設定は表示されません。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                          |

| 項目   | 説明                                                                                                                                                                                           |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 白紙除去 | <p>白紙ページを削除するかどうかを設定します。</p> <p><b>↓ 補足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お使いの機器が白紙除去機能に対応しているときに表示されます。</li> <li>〔共通設定〕の〔ファイル形式〕で〔テキスト付 PDF〕が選択されているときは、設定は無効になります。</li> </ul> |

〔送信先設定〕画面が表示されます。

## 5. 送信先の情報を設定して、〔次へ〕を押します。

3

各設定項目を押して、下記を設定します。

| 項目     | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 送信先ホスト | <p>送信先ホストを IP アドレス、FQDN または NetBIOS 名で入力します（必須項目）。<br/>半角英数字 256 文字まで入力できます。</p> <p><b>↓ 補足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>送信先ホストを FQDN で指定する場合は、あらかじめ複合機のインターフェイス設定で DNS サーバーが登録されている必要があります。詳しくは、複合機の使用説明書を参照してください。</li> <li>送信先ホストを NetBIOS 名で指定するには、お使いの機器が NetBIOS 名での名前解決に対応している必要があります。</li> </ul> |
| ドメイン名  | <p>〔ユーザー名〕に指定したユーザーが属する Windows ドメイン名を設定します（必須項目）。<br/>半角英数字 64 文字まで入力できます。</p> <p><b>↓ 補足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>〔ユーザー名〕を、ドメイン名を含めた形式で設定する場合は、〔ドメイン名〕を入力する必要はありません。</li> </ul>                                                                                                                    |
| ユーザー名  | <p>送信先に接続するためのユーザー名を設定します（必須項目）。<br/>半角英数字 128 文字／全角 64 文字まで入力できます。</p> <p><b>↓ 補足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>下記の形式で、ドメイン名を含めて指定することもできます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>“ドメイン名¥ドメインユーザー名”</li> <li>“ドメインユーザー名@ドメイン名”</li> </ul> </li> </ul>                                                  |

| 項目       | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| パスワード    | 送信先に接続するためのパスワードを設定します（必須項目）。半角英数字 64 文字まで入力できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 送信先フォルダー | <p>送信先フォルダーを設定します（必須項目）。</p> <p><b>↓ 補足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・［送信先フォルダー］として選択するフォルダーは、あらかじめ送信先のコンピューターやサーバーで作成し、共有を設定しておく必要があります。</li> <li>・［送信先ホスト］と［ユーザー名］を正しく入力すると、［参照］が有効になります。［参照］を押すと、送信先フォルダー指定画面が表示されます。リストからフォルダーを選択してください。</li> <li>・<b>↑</b>を押すと、1つ上の階層のフォルダーが表示されます。</li> <li>・フィールドを選択して、パスを直接入力して指定することもできます。</li> </ul> |

［バーコード設定］画面が表示されます。

## 6. バーコードの種類を選択して、［次へ］を押します。

| 項目      | 説明                                                                                                                                                                                                         |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| バーコード識別 | <p>読み取り対象とするバーコードの種類を選択します。</p> <p><b>↓ 補足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・［バーコード（1次元）］を選択すると、［1次元バーコード設定］画面が表示され、詳細を設定できます。手順7へ進んでください。</li> <li>・［QRコード］を選択したときは、手順8へ進んでください。</li> </ul> |

## 7. 読み取り対象とするバーコードを設定して、［次へ］を押します。

各設定項目を押して、下記を設定します。

| 項目       | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| バーコード    | <p>読み取り対象とするバーコードの種類を選択します。</p> <p>↓ 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 複数選択できます。</li> <li>• [Code128] と [EAN128] は同時に選択できません。</li> <li>• CODE39 フルアスキーバーコードには対応していません。</li> <li>• 料金代理収納用バーコード (UCC/EAN128) には対応していません。</li> </ul>                                               |
| チェックデジット | <p>設定項目を押すと選択肢が表示されます。バーコードの種類ごとに、チェック方式を指定します (チェック方式を指定すると、チェックエラーをチェックします)。</p> <p>↓ 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 以下の設定は固定です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– [JAN] : [m10w3]</li> <li>– [Code128] : [m103]</li> <li>– [EAN128] : [m103]</li> </ul> </li> </ul> |
| 桁数       | <p>バーコードの桁数 (0~99) を設定します (桁数を指定すると、桁数エラーをチェックします)。</p> <p>↓ 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [ITF] は桁数を 4 つまで指定できます。</li> <li>• [0] に設定した場合 ([ITF] は 4 つすべて [0] の場合)、桁数はチェックしません。</li> </ul>                                                                                   |

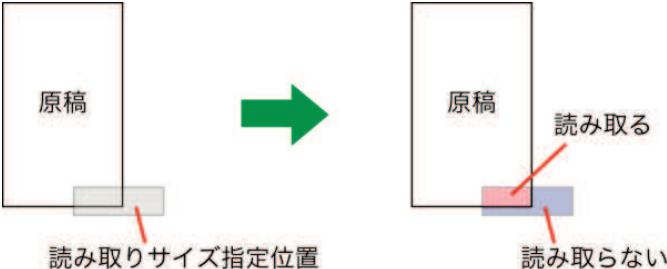
[バーコード認識領域設定] 画面が表示されます。

## 8. 読み取り領域 (読み取るバーコード) を指定して、[次へ] を押します。



各設定項目を押して、下記を設定します。

| 項目       | 説明                                                          |
|----------|-------------------------------------------------------------|
| 読み取り開始位置 | <p>バーコードの読み取り開始位置 ([X (mm)] と [Y (mm)]) を指定します (0~999)。</p> |

| 項目      | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 読み取りサイズ | <p>バーコードの読み取りサイズ（[幅（mm）] と [高さ（mm）]）を指定します（0～999）。</p>  <p><b>↓ 補足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>余白部分も含め、余裕をもった領域を指定してください。</li> <li>[幅（mm）] と [高さ（mm）] に“0”を指定すると、「領域指定しない」設定となります。</li> <li>[幅（mm）] と [高さ（mm）] の値が用紙サイズに収まらない場合は、用紙サイズに収まる部分を読み取り領域とします。</li> </ul>  |

[共通設定] 画面が表示されます。

**↓ 補足**

- 1枚の原稿に複数のバーコードが含まれている場合などに、読み取り領域を指定すると、読み取り速度が速くなります。
- 読み取り領域を指定すると、以下の場合は読み取りエラーとなります。
  - 読み取り領域が正しく認識されなかった場合
  - 設定した［原稿送り］と異なる向きに原稿をセットしてスキャンを行った場合
- ［領域設定解除］を押すと、設定値がクリアされます。

## 9. 保存形式などを設定して、[次へ] を押します。



各設定項目を押して、下記を設定します。

| 項目     | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ファイル形式 | <p>スキャンした画像データのファイル形式（[PDF] / [テキスト付 PDF] / [TIFF] / [JPEG] / [天地方向補正 PDF]）を選択します。</p> <p><b>★重要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [テキスト付 PDF] を利用するには、お使いの機器に OCR 変換モジュールオプションが搭載されている必要があります。詳しくは、複合機の使用説明書を参照してください。</li> <li>• [天地方向補正 PDF] は、お使いの機器が天地識別機能に対応しているときにのみ表示されます。詳しくは、複合機の使用説明書を参照してください。</li> </ul> <p><b>↓補足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [テキスト付 PDF] を選択すると [テキスト付 PDF 設定] が有効になります。設定ボタンを押すと [白紙除去] と OCR の [認識言語] を設定できます。</li> <li>• [テキスト付 PDF] を選択すると、自動的に OCR の天地識別が有効になります。</li> <li>• [原稿種類] で [カラー] または [グレースケール] が選択されているときは、[TIFF] は選択できません。</li> <li>• [区切り設定] が以下のいずれかに設定されているときに [JPEG] を選択した場合は、[区切り設定] は [指定枚数] [1] に変更されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– [区切りなし]</li> <li>– [バーコード出現ごと]</li> <li>– [指定枚数] が [2] 以上</li> </ul> </li> <li>• [天地方向補正 PDF] は、OCR で読み取った文字の向きで原稿の天地（上下）方向を識別し、補正します。</li> </ul> |
| 区切り設定  | <p>送信するファイルの区切り方法を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [区切りなし]：スキャンジョブごとに画像ファイルを作成します。1 ページ目のバーコードのみ、読み取りを行います。1 ページ目にバーコードがない場合は、エラーとなります。</li> <li>• [バーコード出現ごと]：バーコードが出現するごとに画像ファイルを作成します。バーコードが出現したページを 1 ページ目とし、次に出現するまでのページを 1 つのファイルとして作成します。</li> <li>• [指定枚数]：バーコードの有無に関わらず、指定した枚数（1～99）ごとに画像ファイルを作成します。<br/>[指定枚数] を選択すると、[指定枚数：区切り枚数] の [＋] / [－] と [指定端数がでたらエラーとする] が有効になります。[＋] / [－] で枚数を指定します。<br/>[指定端数がでたらエラーとする] を選択すると、原稿の総枚数が指定枚数で割り切れない場合はエラーとなり、スキャンファイルは作成されません。選択しないと、原稿の総枚数が指定枚数で割り切れない場合はエラーとなりますが、スキャンファイルは作成されます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

| 項目        | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|           | <div style="text-align: center;"> </div> <p><b>↓ 補足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [バーコード] で [JAN]、[ITF]、[NW-7] を選択しているときは、[区切りなし] または [指定枚数] を選択してください。</li> <li>• [バーコード出現ごと] に設定した場合、原稿の種類によってはバーコードがない場合でもバーコードを検出することがあります。</li> <li>• [ファイル形式] が [JPEG] に設定されているときは以下となります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– [区切りなし] または [バーコード出現ごと] は選択できません。</li> <li>– [指定枚数：区切り枚数] の [+] / [-] は無効になります。</li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| バーコード情報分割 | <p>バーコードを区切るフォーマット（区切り文字または桁数）を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [文字区切り]：指定した文字（半角英数記号 1 文字）でバーコードを区切ります。</li> <li>• [桁数区切り]：指定した桁数でバーコードを区切ります。区切る桁数+カンマ（,）を入力して指定します<br/> （例：「abcdefghij klm」のバーコードを 3 桁、2 桁、4 桁、4 桁に区切る場合は、「3,2,4,4」と入力します。「abc」、「de」、「fghi」、「jklm」に分割されます）。</li> </ul> <p>アスタリスク（*）を入力すると、その位置を末尾としてそれ以降の文字を一括りとしします（例：「abcdefghij klm」のバーコードを 3 桁、2 桁、4 桁、4 桁に区切る場合は、「3,2,4,*」と入力します。「abc」、「de」、「fghi」、「jklm」に分割されます）。</p> <p><b>↓ 補足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• この設定は、[ファイル名設定]、[CSV ファイルフォーマット設定]、[フォルダー振り分け設定] で [バーコード分割] を指定した場合に適用されます。分割したバーコードを複数選択してファイル名または CSV ファイルに出力できます。フォルダー振り分けの場合は、分割したバーコードから 1 つをフォルダー名に指定できます。</li> <li>• 区切り文字に“¥”（半角円記号）を指定した場合、“\”（半角バックスラッシュ）とみなし、バーコードの値を“\”で分割します。分割できない場合は、バーコードの値を“¥”（半角円記号）で分割します。</li> </ul> |

| 項目    | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>“\”（半角バックスラッシュ）は、ドキュメントでは“\\”（全角バックスラッシュ）表示となります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| ファイル名 | <p>ファイル名を指定します。</p> <p> <b>参照</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ファイル名の付け方の詳細については、P.30「ファイル名の付け方を設定する」を参照してください。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 認識結果  | <p>読み取ったバーコード情報の保存方法を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【ファイル名のみ】：読み取ったバーコードの情報を、画像データのファイル名として保存します。ファイル名は、“読み取ったバーコードの文字列”、“日付時刻”、“連番”などを組み合わせることができます。<br/>例：49401394_20200225141345_0001.tif</li> <li>【テキストファイル】：読み取ったバーコードの情報を、画像データとテキストファイルに保存します。ファイル名は、“読み取ったバーコードの文字列”、“日付時刻”、“連番”などを組み合わせることができます。<br/>例：20200225141345_0001.tif（画像データ）<br/>20200225141345_0001.txt（バーコード情報データ）<br/>複数枚の原稿から複数のバーコードを読み取った場合、読み取ったバーコード情報ごとにテキストファイルが作成されます。</li> <li>【CSV ファイル】：読み取ったバーコードの情報を、画像データと CSV ファイルに保存します。<br/>【CSV ファイル】を選択すると、フォーマット設定ボタンが有効になります。【CSV ファイルフォーマット設定】画面を表示して、CSV ファイルに出力する内容を“バーコード全体”、“バーコード分割（分割したバーコードの何番目を抽出するか）”、“日付時刻”、“ファイル名”、“空文字”から指定できます（各情報は、カンマで区切られます）。<br/>ファイル名は、“日付時刻”となります。<br/>例：20200225141345.tif（画像データ）<br/>20200225141345.csv（バーコード情報データ）<br/>複数枚の原稿から複数のバーコードを読み取った場合、読み取ったバーコードの情報をまとめて1つの CSV ファイルに保存します。</li> <li>【フォルダー振り分け】：選択すると、フォルダー振り分け設定ボタンが有効になります。【フォルダー振り分け設定】画面で、振り分け設定を指定します。指定したフォルダーが存在しないときは、フォルダーを生成します。<br/>－ 【バーコード全体をフォルダー名とする】：読み取ったバーコードの文字列をフォルダー名とするフォルダーにデータを保存します。</li> </ul> |

↓ 補足

| 項目             | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| チェック出力         | <p>バーコードに含まれるチェックデジットを、バーコード文字列として出力するかどうかを設定します。</p> <p>↓ 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [含める] に設定した場合でも、[Code128] と [EAN128] のチェックデジットは、バーコード文字列として出力されません。</li> <li>・ チェックデジットが含まれるバーコード（対象は [JAN]、[ITF]、[NW-7]）は、[チェック出力] を [含めない] に設定した場合でも、[チェックデジット] を [しない] に設定すると、チェックデジットがバーコード文字列として出力されます。</li> </ul> |
| Start/StopCode | <p>バーコードに含まれるスタート/ストップコードをバーコード文字列として出力するかどうかを設定します。</p> <p>↓ 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [含める] に設定した場合でも、下記は出力できません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– スタート/ストップコードを出力できないバーコードの場合は、バーコード文字列は出力されません。</li> <li>– CODE39 のスタート/ストップコードは、ファイル名には出力できません。</li> </ul> </li> </ul>                          |
| 余白ドット数         | <p>バーコードの左右の余白の幅をドット数で設定します。</p> <p>★ 重要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余白の値は、バーコードの白バーよりも大きい値に設定してください。バーコードの白バーより小さい値にすると、白バーがバーコードの終了位置として認識されます。</li> </ul> <p>右の余白が白バーより狭い場合、この範囲がバーコードとして認識される</p> <p>白バーより幅を広く設定する</p>    |

確認メッセージが表示されます。

## 10. [OK] を押します。

業務ボタンに設定が保存されます。

## ファイル名の付け方を設定する

〔共通設定〕画面で〔ファイル名〕ボタンを押すと〔ファイル名設定〕画面が表示され、ファイル名の付け方を指定できます。

### 目 参照

- ・〔共通設定〕については、P.17「業務ボタンを登録する」の手順9を参照してください。

### 1. 各設定項目を押して下記を設定し、〔OK〕を押します。

| 項目    | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ファイル名 | 設定するファイル名が表示されます。<br>〔末尾を削除〕を押すと、ファイル名に設定した項目を末尾から削除できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 操作方法  | 操作方法を説明しています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 追加項目  | <p>ファイル名として設定する情報を選択します。複数選択して、組み合わせることもできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〔バーコード全体〕：読み取ったバーコードの文字列全体をファイル名とします。</li> <li>・〔バーコード分割〕：分割したバーコードの何番目をファイル名とするかを〔+〕／〔-〕で指定します。〔バーコード分割〕を設定する場合は、〔共通設定〕画面の〔バーコード情報分割〕でバーコードの分割位置を設定してください。</li> <li>・〔日付時刻〕：日付時刻をファイル名とします。</li> <li>・〔固定値〕：〔固定値〕を選択すると設定ボタンが有効になります。設定ボタンを押して、半角 50 文字／全角 25 文字で文字列を指定してください。</li> <li>・〔入力文字〕：業務ボタン実行時にファイル名指定画面を表示します。</li> <li>・〔単語帳〕：〔入力文字〕を選択すると有効になります。業務ボタン実行時のファイル名指定画面に、単語の一覧を表示するかどうかを設定します。</li> </ul> <p><b>↓ 補足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〔認識結果〕の〔フォルダー振り分け〕で〔¥で区切られたパスをフォルダー名とする〕が設定されているときに〔バーコード全体〕を選択した場合は、読み取ったバーコード情報の最後の区切り文字「¥」以降をファイル名とします。</li> </ul> |

| 項目    | 説明                                                                                                                                                                     |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>ファイル名に指定できない文字列を〔固定値〕に指定すると、エラーになります。</li> <li>単語帳に登録されている単語を確認したり、インポート／エクスポートできます。詳細については、P.31「単語帳を設定する」を参照してください。</li> </ul> |
| セパレータ | ファイル名に設定した追加項目のセパレータを設定します。セパレータは、複数選択できません。                                                                                                                           |
| 連番付け  | 複数のファイルを保存する際に、ファイル名に連番を付けるかどうかを設定します。〔連番〕を選択すると、ファイル名の末尾に自動的に“-”（ハイフン）と4桁の番号を付加します。                                                                                   |

## 単語帳を設定する

登録されている単語を確認したり、単語帳をインポート、エクスポートできます。

インポート／エクスポートには、共有フォルダー、SD カードまたは USB メモリーを使用します。

### ⚠ 注意



- SD カードは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って SD カードを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

### ↓ 補足

- お使いの機器によって、利用できるメモリー（SD カードまたは USB メモリー）は異なります。SD カードと USB メモリーを利用できる機器で、両方が挿入されている場合は、USB メモリーが優先されます。

## 単語帳をインポートする

### ★ 重要

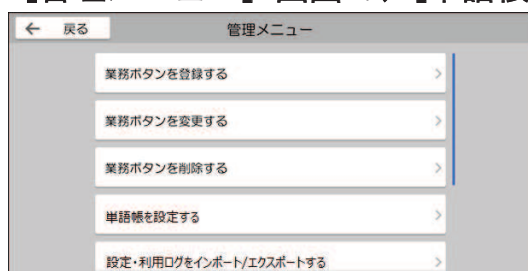
- あらかじめ共有フォルダー、または SD カードのルートフォルダーに“ktbcd” フォルダーを作成してインポートファイル（CSV 形式）を配置してください。
- インポートファイルは、エクスポートファイルを利用するか、CSV 形式で以下のよう  
に作成してください。
  - ファイル名：99word.csv（先頭2桁の数值は、単語を登録する業務ボタンの番号）
  - 文字コード：Shift-JIS
  - 単語：各単語は半角50文字／全角25文字まで（Windowsでファイル名に利用できない文字は利用不可）。登録する単語を改行で区切って入力。最大48個。

入力例：

|   | A     | B |
|---|-------|---|
| 1 | 契約書   |   |
| 2 | 報告書   |   |
| 3 | 申請書   |   |
| 4 | 申込書   |   |
| 5 | 図面    |   |
| 6 | 仕様書   |   |
| 7 | 製造指示書 |   |
| 8 | 作業日報  |   |
| 9 | 見直し書  |   |

3

1. 「管理メニュー」画面で、「単語帳を設定する」を押します。



業務ボタン選択画面が表示されます。

#### 目 参照

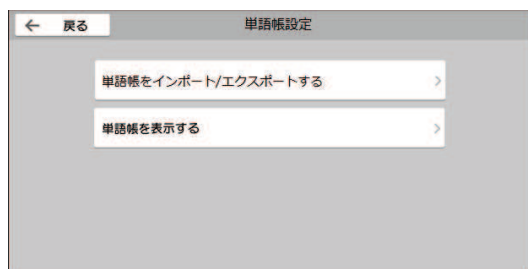
- ・ 「管理メニュー」画面の表示方法については、P.16 「管理メニューを表示する」を参照してください。

2. インポートする単語帳を設定する業務ボタンを押します。



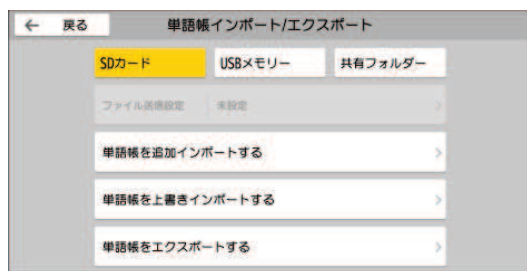
「単語帳設定」画面が表示されます。

3. 「単語帳をインポート／エクスポートする」を押します。



「単語帳インポート／エクスポート」画面が表示されます。

#### 4. インポート元を [SD カード]、[USB メモリー]、または [共有フォルダー] から選択します。



##### ↓ 補足

- 表示されるインポート元は、お使いの機器によって異なります。
- [共有フォルダー] を選択した場合は、[ファイル送信設定] を押して “ktbcd” フォルダーの 1 つ上の階層のフォルダーを指定してください。

#### 5. [単語帳を追加インポートする] または [単語帳を上書きインポートする] を押します。

確認メッセージが表示されます。

##### ↓ 補足

- [単語帳を追加インポートする] は、単語を追加インポートします。すでに登録されている単語の後に追加されます。追加する単語に登録済みの用語が含まれている場合、重複して登録されます。
- [単語帳を上書きインポートする] は、登録されている単語はすべて削除されます。必要に応じて、あらかじめ設定をエクスポートし、バックアップデータを保存してください。

#### 6. [OK] を押します。

単語帳がインポートされます。

### 単語帳をエクスポートする

#### ★ 重要

- エクスポートに使用する共有フォルダー、SD カードまたは USB メモリーに古いエクスポートデータが保存されている場合は上書きされます。必要に応じて、バックアップデータを保存してください。

##### ↓ 補足

- SD カードまたは USB メモリーを使用する場合は、ルートディレクトリに自動的に “ktbcd” フォルダーが作成され、サブフォルダーにエクスポートデータが保存されます。
- SD カードまたは USB メモリーを使用する場合は、使用する SD カードまたは USB メモリーの残容量および、書き込みロックが解除されていることを確認してください。

1. [管理メニュー] 画面で、[単語帳を設定する] を押します。



業務ボタン選択画面が表示されます。

目 参照

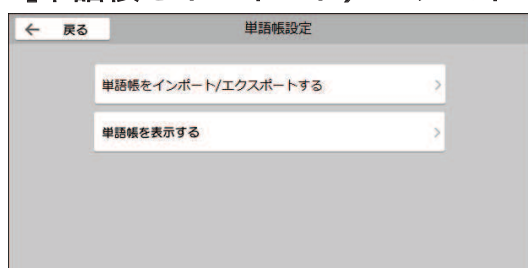
- [管理メニュー] 画面の表示方法については、P.16 「管理メニューを表示する」を参照してください。

2. 単語帳をエクスポートする業務ボタンを押します。



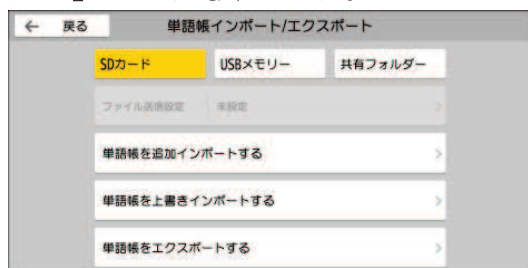
[単語帳設定] 画面が表示されます。

3. [単語帳をインポート／エクスポートする] を押します。



[単語帳インポート／エクスポート] 画面が表示されます。

4. エクスポート先を [SD カード]、[USB メモリー] または [共有フォルダー] から選択します。



↓ 補足

- 表示されるエクスポート先は、お使いの機器によって異なります。

- ・ [共有フォルダー] を選択した場合は、[ファイル送信設定] を押してエクスポート先のフォルダーを指定してください。

## 5. [単語帳をエクスポートする] を押します。

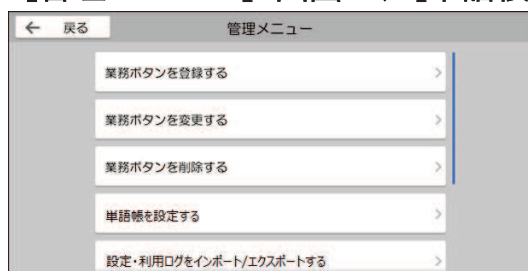
確認メッセージが表示されます。

## 6. [OK] を押します。

単語帳がエクスポートされます。

## 単語帳に登録されている単語を確認する

### 1. [管理メニュー] 画面で、[単語帳を設定する] を押します。



業務ボタン選択画面が表示されます。

#### 目 参照

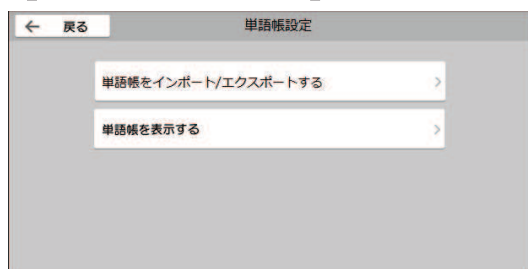
- ・ [管理メニュー] 画面の表示方法については、P.16 「管理メニューを表示する」を参照してください。

### 2. 単語帳を確認する業務ボタンを押します。



[単語帳設定] 画面が表示されます。

### 3. [単語帳を表示する] を押します。



単語帳に登録されている単語が表示されます。

## 業務ボタンの設定を変更する

1. 「管理メニュー」画面で、「業務ボタンを変更する」を押します。



業務ボタン選択画面が表示されます。

### 目 参照

- 「管理メニュー」画面の表示方法については、P.16 「管理メニューを表示する」を参照してください。

2. 設定を変更する業務ボタンを押します。



選択した業務ボタンに設定されている内容が表示されます。

### ↓ 補足

- 設定が登録されていない業務ボタンは選択できません。「管理メニュー」画面の「業務ボタンを登録する」から登録を行ってください。

3. 「スキャン条件設定」、「バーコード設定」、「共通設定」、「ファイル送信設定」、「業務ボタン名変更」を押して、設定を変更します。



各項目の設定方法は、業務ボタンを登録するときの手順と同じです。

### 目 参照

- 各項目の設定方法については、P.17 「業務ボタンを登録する」を参照してください。

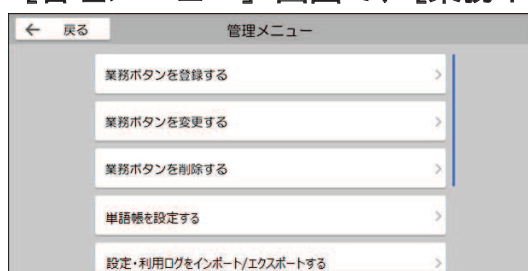
↓ 補足

- バーコード設定を変更する際は、[バーコード設定] 画面に [領域指定] の [設定変更] ボタンが表示されます。また、[バーコード (1次元)] を選択すると、1次元バーコードの設定ボタンが有効になります。それぞれボタンを押すと、設定を変更できます。
- 業務ボタンを変更する際は、[次へ] ボタンの代わりに [OK] ボタンが表示されます。

## 業務ボタンを削除する

3

1. [管理メニュー] 画面で、[業務ボタンを削除する] を押します。



業務ボタン選択画面が表示されます。

目 参照

- [管理メニュー] 画面の表示方法については、P.16 「管理メニューを表示する」を参照してください。

2. 削除する業務ボタンを押します。



確認メッセージが表示されます。

↓ 補足

- 設定が登録されていない業務ボタンは選択できません。

3. [OK] を押します。

業務ボタンの設定が削除されます。

## 4. 業務ボタンを使う

### ★ 重要

- 複合機が“ユーザー認証あり”に設定されているときに文書を送信する場合は、ユーザーとしてログインしてください。機器管理者としてログインすると、業務ボタンを使用できません。

## 業務ボタンを使ってスキャンする

### ↓ 補足

- あらかじめ使用する業務ボタンを登録しておく必要があります。詳しくは、P.17「業務ボタンを登録する」を参照してください。

### 4

#### 1. トップ画面で、業務ボタンを押します。



スキャン実行画面が表示されます。

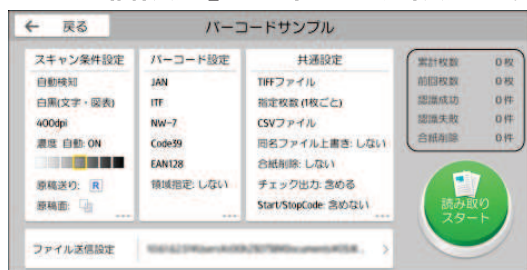
### ↓ 補足

- 業務ボタン1（左上のボタン）の「起動時優先画面表示」が「する」に設定されているときは、カンタンバーコード活用を起動すると、業務ボタン1のスキャン実行画面が表示されます。トップ画面を表示するには、「戻る」を押してください。

### 目 参照

- トップ画面の表示方法については、P.13「カンタンバーコード活用を起動する」を参照してください。

#### 2. 必要に応じて、[スキャン条件設定]、[バーコード設定]、[共通設定]、[ファイル送信設定]を押して、設定を変更します。



### ★ 重要

- ここで変更した設定は、使用中の業務ボタンには保存されません。

↓ 補足

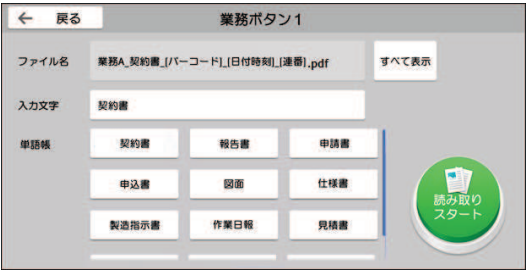
- バーコード設定を変更する際は、[バーコード設定] 画面に [領域指定] の [設定変更] ボタンが表示されます。また、[バーコード (1 次元)] を選択すると、1 次元バーコードの設定ボタンが有効になります。それぞれボタンを押すと、設定を変更できます。
- 選択した業務ボタンのファイル名設定で [入力文字] が選択されていない場合は、[読み取りスタート] ボタンが表示されます。手順 4 へ進んでください。
- 選択した業務ボタンのファイル名設定で [入力文字] が選択されているときは、[ファイル名設定へ] ボタンが表示されます。ボタンを押すと、ファイル名設定画面が表示されます。手順 3 へ進んでください。
- 画面の右上には、各処理の枚数が表示されます。
  - [累計枚数]：カンタンバーコード活用の起動時からの処理累計枚数（業務ボタンごと）を表示します。
  - [前回枚数]：直前のジョブの処理枚数を表示します。
  - [認識成功]：直前のジョブで、バーコードの読み取りに成功した件数を表示します。
  - [認識失敗]：直前のジョブで、バーコードの読み取りに失敗した件数を表示します。
  - [合紙削除]：直前のジョブで、合紙を削除した件数を表示します。

新しくスキャンを実行すると情報が更新されます。[累計枚数] はアプリケーションが起動している間保持されます。その他の処理の値は、[戻る] を押して業務ボタン選択画面に戻るとクリアされます（「0」になります）。

目 参照

- 各項目の設定方法は、業務ボタンを登録するときの手順と同じです。詳細については、P.17「業務ボタンを登録する」を参照してください。

### 3. ファイル名を指定します。



| 項目    | 説明                                                                                                                                                                 |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ファイル名 | 設定するファイル名が表示されます。設定されている文字列がすべて表示されていないときは、[すべて表示] を押すと確認できます。                                                                                                     |
| 入力文字  | 設定ボタンを押して、半角 50 文字／全角 25 文字で文字列を指定します。指定した文字列が設定ボタンに表示されます。<br><div>↓ 補足</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ファイル名に指定できない文字列を指定すると、エラーになります。</li> </ul> |

| 項目  | 説明                                                              |
|-----|-----------------------------------------------------------------|
| 単語帳 | 業務ボタンに単語帳表示が設定されているときに、登録されている単語が表示されます。<br>単語を押すと、入力文字に追加されます。 |

#### 4. 原稿を自動送り装置（ADF）または原稿ガラスにセットして「読み取りスタート」を押します。

スキャンが実行され、データが保存されます。

##### ↓ 補足

- 原稿ガラスで原稿をスキャンしたときは、次の原稿をセットして「継続」を押すと続けてスキャンを実行できます。スキャンを中止するときは「中止」を押します。  
すべての原稿のスキャンが完了したときは「読取終了」を押します。
- 複合機の音声が無効のときは、スキャン完了後に原稿取り忘れ防止ビープ音が鳴ります。ビープ音を無効にしたい場合は、複合機で下記を設定してください。  
[初期設定] → [操作部初期設定] → [音] → [やや至急の状況時] → [音なし]

## 5. 設定

ここでは、以下を説明します。各操作は、**[⚙ 管理メニュー]** から行います。

- 管理者認証設定 (P.41)
- 設定ファイルのインポート／エクスポート (P.42)
- システムログのエクスポート (P.45)
- OSS ライセンスとアプリケーションのバージョンの確認 (P.48)

### 管理者認証設定

**[⚙ 管理メニュー]** を使用するための認証を設定します。

#### 目 参照

- 各設定項目の初期設定については、P.66「管理メニュー」を参照してください。

#### 1. **[管理メニュー]** 画面で、**[管理者認証設定する]** を押します。

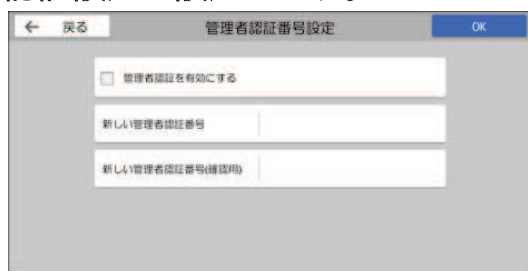


**[管理者認証番号設定]** 画面が表示されます。

#### 目 参照

- **[管理メニュー]** 画面の表示方法については、P.16「管理メニューを表示する」を参照してください。

#### 2. 認証設定を設定します。



各設定項目を押して、下記を設定します。

| 項目          | 説明                                                                                        |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 管理者認証を有効にする | 管理者認証を有効にする場合に選択します。<br>管理者認証を有効にすると、トップ画面で <b>[⚙ 管理メニュー]</b> を押したときに、管理者認証番号の入力が必要になります。 |

| 項目              | 説明                                                                                                                                                                                              |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 新しい管理者認証番号      | <p>〔管理者認証を有効にする〕を選択すると、有効になります。認証番号を 4～8 桁の数字で設定します。入力文字はマスク表示（・（ドット））されます。</p> <p><b>★重要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設定した管理者認証番号を忘れないようご注意ください。管理者設定を変更できなくなります。</li> </ul> |
| 新しい管理者認証番号（確認用） | <p>パスワード確認のため、〔新しい管理者認証番号〕に設定したパスワードを入力します。入力文字はマスク表示（・（ドット））されます。</p>                                                                                                                          |

### 3. [OK] を押します。

設定が保存されます。

## 5

# インポート／エクスポート

カンタンバーコード活用の設定（業務ボタンやアプリケーション情報）のインポート／エクスポートや、利用ログのエクスポートができます。

インポート／エクスポートには共有フォルダー、SD カードまたは USB メモリーを使用します。

## ⚠ 注意



- SD カードは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って SD カードを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

## ★重要

- 複合機が“ユーザー認証あり”に設定されているときは、機器管理者としてログインしてください。ユーザーでログインすると、インポート／エクスポートできません。
- インポート／エクスポート実行中は、複合機の電源を切らないでください。

## カンタンバーコード活用の設定をインポート／エクスポートする

カンタンバーコード活用の設定をインポート／エクスポートできます。

## ↓ 補足

- お使いの機器によって、利用できるメモリー（SD カードまたは USB メモリー）は異なります。SD カードと USB メモリーを利用できる機器で、両方が挿入されている場合は、USB メモリーが優先されます。
- インポート元／エクスポート先の共有フォルダーは、最後に設定した設定を保持します。

## 設定をインポートする

### ★ 重要

- エクスポートしたファイルは編集しないでください。編集したファイルをインポートすると、アプリケーションが動作しなくなる可能性があります。
- 設定をインポートすると、既存の設定はすべて削除されます。必要に応じて、あらかじめ設定をエクスポートし、バックアップデータを保存してください。
- A3 サイズ対応機種でエクスポートしたデータを、A4 サイズ対応機種でインポートした場合、A4 サイズ対応機種で使用可能な設定に補正されます。
- お使いの機器が、インポートするデータの原稿読み取りの不定形サイズに対応していない場合、対応可能な数値（最小／最大）に補正されます。

### ↓ 補足

- インポート時にエラーにならない場合でも、正しく動作しないことがあります。

### 目 参照

- エラーメッセージについては、P.49「エラーメッセージ」の「業務ボタンとアプリケーション設定のインポート／エクスポート時」を参照してください。

## 1. 「管理メニュー」画面で、「設定・利用ログをインポート／エクスポートする」を押します。

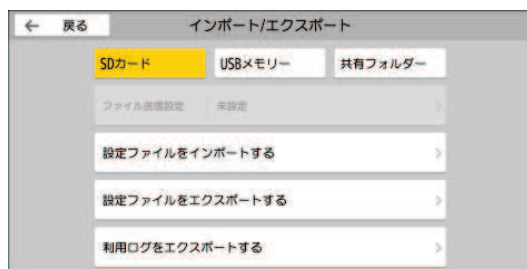


「インポート／エクスポート」画面が表示されます。

### 目 参照

- 「管理メニュー」画面の表示方法については、P.16「管理メニューを表示する」を参照してください。

## 2. インポート元を「SD カード」、【USB メモリー】または【共有フォルダー】から選択します。



### ↓ 補足

- 表示されるインポート元は、お使いの機器によって異なります。
- 「共有フォルダー」を選択した場合は、「ファイル送信設定」を押して“ktbcd”

フォルダーの 1 つ上の階層のフォルダーを指定してください。

### 3. 「設定ファイルをインポートする」を押します。

確認メッセージが表示されます。

### 4. 「OK」を押します。

業務ボタンやアプリケーション情報がインポートされます。

#### ↓ 補足

- インポート実行後は、操作をキャンセルできません。
- インポートするファイルにエラーがある場合は、情報をインポートできません。インポート前の情報のままとなります。

## 設定をエクスポートする

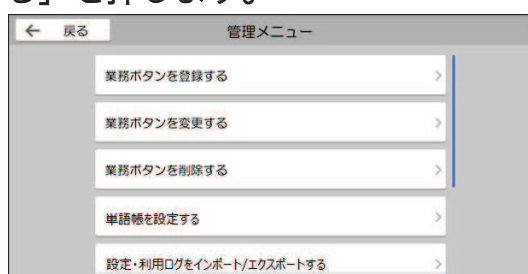
#### ★ 重要

- エクスポートに使用する共有フォルダー、SD カードまたは USB メモリーに古いエクスポートデータが保存されている場合は上書きされます。必要に応じて、バックアップデータを保存してください。

#### ↓ 補足

- SD カードまたは USB メモリーを使用する場合は、ルートディレクトリに自動的に“ktbcd”フォルダーが作成され、サブフォルダーにエクスポートデータが保存されます。
- SD カードまたは USB メモリーを使用する場合は、使用する SD カードまたは USB メモリーの残容量および、書き込みロックが解除されていることを確認してください。
- 

### 1. 「管理メニュー」画面で、「設定・利用ログをインポート／エクスポートする」を押します。



「インポート／エクスポート」画面が表示されます。

#### 目 参照

- 「管理メニュー」画面の表示方法については、P.16 「管理メニューを表示する」を参照してください。

## 2. エクスポート先を [SD カード]、[USB メモリー] または [共有フォルダー] から選択します。



## 3. 補足

- 表示されるエクスポート先は、お使いの機器によって異なります。
- [共有フォルダー] を選択した場合は、[ファイル送信設定] を押してエクスポート先のフォルダーを指定してください。

## 4. [設定ファイルをエクスポートする] を押します。

確認メッセージが表示されます。

## 5. [OK] を押します。

業務ボタンやアプリケーション情報がエクスポートされます。

## 補足

- パスワード情報は暗号化してエクスポートされます。
- エクスポート実行後は、操作をキャンセルできません。

5

## アプリケーションの利用ログをエクスポートする

カンタンバーコード活用の利用ログ（ユーザーの利用履歴）をエクスポートできます。

### ★重要

- エクスポートに使用する共有フォルダー、SD カードまたは USB メモリーに古いエクスポートデータが保存されている場合は上書きされます。必要に応じて、バックアップデータを保存してください。

## 補足

- ログファイルは、1 ファイルあたり 3 MB まで、最大 10 ファイルまでエクスポートされます。
- SD カードまたは USB メモリーを使用する場合は、ルートディレクトリに自動的に“ktbcd”フォルダーが作成され、サブフォルダー（log）にログファイル（systemNNN\*.log）が保存されます。  
\* 001 から始まる連番。
- SD カードまたは USB メモリーを使用する場合は、使用する SD カードまたは USB メモリーの残容量および、書き込みロックが解除されていることを確認してください。

1. 「管理メニュー」画面で、「設定・利用ログをインポート／エクスポートする」を押します。

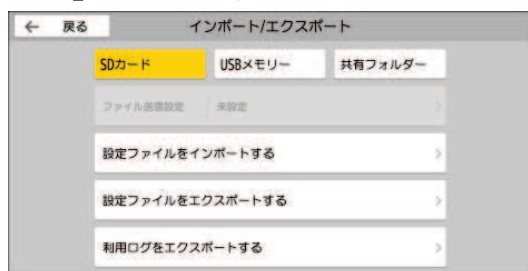


「インポート／エクスポート」画面が表示されます。

**目 参照**

- 「管理メニュー」画面の表示方法については、P.16 「管理メニューを表示する」を参照してください。

2. エクスポート先を「SD カード」、【USB メモリー】または【共有フォルダー】から選択します。



**↓ 補足**

- 表示されるエクスポート先は、お使いの機器によって異なります。
- 「共有フォルダー」を選択した場合は、「ファイル送信設定」を押してエクスポート先のフォルダーを指定してください。

3. 「利用ログをエクスポートする」を押します。

確認メッセージが表示されます。

4. 「OK」を押します。

利用ログがエクスポートされます。

**↓ 補足**

- エクスポート実行後は、操作をキャンセルできません。

## 利用ログ

利用ログは以下のフォーマットで出力されます。

「日時,ログインユーザー,機械番号（機番）,メッセージ種類,メッセージ」

### ↓ 補足

- “ログインユーザー” の情報は、複合機が“ユーザー認証あり” に設定されているときに出力されます。
- ログファイルの文字コードは、UTF-8 です。

“メッセージ種類” と “メッセージ” には、以下の内容が表示されます。

| メッセージ種類  | メッセージ                                                                                                                                                          |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| アプリ      | 以下のいずれかの情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• “アプリ開始”</li> <li>• “アプリ終了”</li> </ul>                                                              |
| スキャン     | 以下のいずれかの情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• “開始：スキャン” と選択した業務ボタン名</li> <li>• “完了：スキャン” とスキャン部数</li> <li>• “エラー：スキャン” とエラー内容</li> </ul>         |
| バーコード解析  | 以下のいずれかの情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• “開始：バーコード解析”</li> <li>• “完了：バーコード解析” と解析結果</li> <li>• “エラー：バーコード解析” とエラー内容</li> </ul>              |
| ファイル生成   | 以下のいずれかの情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• “開始：ファイル生成” とファイル名</li> <li>• “完了：ファイル生成” とファイル名、ファイルサイズ</li> <li>• “エラー：ファイル生成” とエラー内容</li> </ul> |
| ファイル名ルール | 以下の情報が表示されます。<br>“決定：ファイル名ルール” と送信元ファイル名、送信先ファイル名                                                                                                              |
| ファイル送信   | 以下のいずれかの情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• “開始：ファイル送信” と送信先</li> <li>• “完了：ファイル送信” とファイル名</li> <li>• “エラー：ファイル送信” とエラー内容</li> </ul>           |

## OSS ライセンスとアプリケーションのバージョンを確認する

1. 「管理メニュー」画面で、「このアプリについて」を押します。



OSS ライセンス情報とカンタンバーコード活用のバージョンが表示されます。

### 目 参照

- 「管理メニュー」画面の表示方法については、P.16 「管理メニューを表示する」を参照してください。

2. 「閉じる」を押します。  
トップ画面が表示されます。

## 6. こまったときは

### エラーメッセージ

操作中にエラーメッセージが表示されたときは、下記を参考に対処してください。

#### アプリケーション起動時

| メッセージ                                                              | 説明・発生事由・対処方法                                                               |
|--------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| アプリケーションが起動できません。<br>[E000-3]                                      | ファイルアクセスエラー（ファイルが見つからない、ファイルが不正など）が発生しています。<br>機器管理者にお問い合わせください。           |
| エラーが発生しました。<br>アプリケーションを終了します。<br>[E999-9]                         | 想定外のエラーが発生しました。<br>再度アプリケーションを起動してください。<br>エラーが解消されない場合は、機器管理者にお問い合わせください。 |
| スキャナーを利用する権限がないため、アプリを利用することができません。<br>管理者へお問い合わせください。<br>[ES00-2] | 複合機の［ユーザー認証管理］で、ログインユーザーのスキャン機能の利用が制限されています。<br>機器管理者にお問い合わせください。          |
| スキャナーが利用できないため、アプリを利用することができません。<br>管理者へお問い合わせください。<br>[ES00-5]    | 複合機のアプリケーション別機能制限でスキャナー利用が制限されています。<br>機器管理者にお問い合わせください。                   |

6

#### 管理メニュー表示時

| メッセージ                                               | 説明・発生事由・対処方法                                                   |
|-----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 管理者認証番号が誤っています。<br>正しい管理者認証番号を入力してください。<br>[EA01-2] | 入力した管理者認証番号が正しくありません。<br>正しい管理者認証番号を入力してください。<br>初期値は“0000”です。 |

#### 業務ボタンの設定および使用時

| メッセージ                                                                             | 説明・発生事由・対処方法                                           |
|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 業務ボタンは6個を超えて登録することができません。<br>新しく業務ボタンを登録するためには、登録済み業務ボタンを削除する必要があります。<br>[E010-1] | 業務ボタンは6個までしか登録できません。<br>不要な業務ボタンの設定を削除してから、追加登録してください。 |

| メッセージ                                                                         | 説明・発生事由・対処方法                                                                                    |
|-------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 業務ボタンが登録されていません。<br>業務ボタンを登録してください。<br>[E010-2]                               | 業務ボタンに設定が登録されていません。<br>業務ボタンに設定を登録してからスキャンを実行してください。                                            |
| 業務ボタンを登録する権限がないため、業務ボタンの登録ができません。<br>管理者へお問い合わせください。<br>[EA00-1]              | 複合機が“ユーザー認証あり”に設定されているときは、機器管理者は業務ボタンに設定を登録できません。ログインユーザーで実行してください。詳細は、P.15「各機能の操作権限」を参照してください。 |
| 業務ボタンを変更する権限がないため、業務ボタンの変更ができません。<br>管理者へお問い合わせください。<br>[EA00-3]              | 複合機が“ユーザー認証あり”に設定されているときは、機器管理者は業務ボタンの設定を変更できません。ログインユーザーで実行してください。詳細は、P.15「各機能の操作権限」を参照してください。 |
| 業務ボタンを削除する権限がないため、業務ボタンの削除ができません。<br>管理者へお問い合わせください。<br>[EA00-4]              | 複合機が“ユーザー認証あり”に設定されているときは、機器管理者は業務ボタンの設定を削除できません。ログインユーザーで実行してください。詳細は、P.15「各機能の操作権限」を参照してください。 |
| 利用できない原稿種類が選択されています。<br>[EA02-12]                                             | 複合機のアプリケーション別機能制限で利用を制限されている原稿種類が選択されています。<br>原稿種類の設定を変更するか、機器管理者にお問い合わせください。                   |
| タテは NNN ～ NNN mm の範囲で設定してください。<br>ヨコは NNN ～ NNN mm の範囲で設定してください。<br>[EA02-14] | お使いの複合機が対応していないサイズが指定されています。<br>対応サイズについては、機器管理者にお問い合わせください。                                    |
| ファイル送信先が設定されていません。<br>[EA02-1]                                                | ファイル送信先が選択されていません。<br>送信先を指定してください。                                                             |
| 認識バーコード形式が選択されていません。<br>[EA02-2]                                              | 読み取り対象のバーコードの種類が指定されていません。<br>バーコードの種類を選択してください。                                                |
| バーコード形式が 1 件も選択されていません。<br>[EA02-3]                                           | 読み取り対象のバーコードの種類が指定されていません。<br>バーコードの種類を選択してください。                                                |
| 設定項目はいずれかを選択してください。<br>[EA02-6]                                               | 設定必須項目が指定されていません。<br>いずれかの設定を選択してください。                                                          |
| 業務ボタン名を入力してください。<br>[EA020-1]                                                 | 業務ボタン名が設定されていません。<br>業務ボタン名は設定必須項目です。                                                           |

| メッセージ                                                | 説明・発生事由・対処方法                                                                      |
|------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 業務ボタン名は 半角 20 文字、全角 10 文字以内で設定してください。<br>[EA020-2]   | 設定可能範囲外の文字数が設定されています。<br>半角 20 文字／全角 10 文字以内で設定してください。                            |
| ホスト名/IP を入力してください。<br>[EA040-1]                      | 〔送信先ホスト〕に値が入力されていません。<br>半角 256 文字以内で、送信先サーバーのホスト名、IP アドレスまたは NetBIOS 名を入力してください。 |
| ホスト名/IP は半角 256 文字以内で設定してください。<br>[EA040-2]          | 設定可能範囲外の文字数が設定されています。<br>〔送信先ホスト〕は半角 256 文字以内で入力してください。                           |
| ホスト名/IP に不正な文字が使われています。<br>[EA040-3]                 | 〔送信先ホスト〕に、使用できない文字が入力されています。正しく設定してください。                                          |
| ドメイン名は半角 64 文字以内で設定してください。<br>[EA040-4]              | 設定可能範囲外の文字数が設定されています。<br>〔ドメイン名〕は半角 64 文字以内で入力してください。                             |
| ドメイン名に不正な文字が使われています。<br>[EA040-5]                    | 〔ドメイン名〕に、使用できない文字が入力されています。正しく設定してください。                                           |
| ユーザー名を入力してください。<br>[EA040-6]                         | 〔ユーザー名〕が設定されていません。<br>半角 128 文字／全角 64 文字以内で入力してください。                              |
| ユーザー名は半角 128 文字、全角 64 文字以内の範囲で設定してください。<br>[EA040-7] | 設定可能範囲外の文字数が設定されています。<br>ユーザー名は、半角 128 文字／全角 64 文字以内で設定してください。                    |
| パスワードは半角 64 文字以内で設定してください。<br>[EA040-10]             | 設定可能範囲外の文字数が設定されています。<br>パスワードは、半角 64 文字以内で設定してください。                              |
| パスワードに不正な文字が使われています。<br>[EA040-11]                   | パスワードに、使用できない文字が入力されています。正しく設定してください。                                             |
| 区切り文字を入力してください。<br>[EA01-13]                         | 〔区切り文字〕が選択されていますが、区切り文字が入力されていません。<br>半角英数記号を 1 文字指定してください。                       |
| 区切り文字は、半角英数字または記号で入力してください。<br>[EA01-14]             | 区切り文字に、使用できない文字が入力されています。半角英数記号を 1 文字指定してください。                                    |
| 桁数区切りのフォーマットを入力してください。<br>[EA01-15]                  | 〔桁数区切り〕が選択されていますが、フォーマットが入力されていません。正しく設定してください。                                   |

| メッセージ                                                                             | 説明・発生事由・対処方法                                                                  |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 桁数区切りのフォーマットは 99 個以内で入力してください。<br>[EA01-16]                                       | 桁数区切りのフォーマットが 100 個以上入力されています。99 個以内で設定してください。                                |
| 桁数区切りのフォーマットは 494 文字以内で設定してください。<br>[EA01-17]                                     | 桁数区切りのフォーマットが 495 文字以上で指定されています。494 文字以内で設定してください。                            |
| 桁数区切りのフォーマットは 1～7089 の数字をカンマ区切りで指定してください。末尾にのみアスタリスク(*)を指定することができます。<br>[EA01-18] | 桁数区切りのフォーマットが正しく設定されていません。メッセージの内容を確認し、エラーの原因を解決してください。                       |
| CSV ファイルのカラムを入力してください。<br>[EA01-19]                                               | CSV ファイルフォーマットが指定されていません。CSV ファイルに出力する内容を指定してください。                            |
| CSV ファイルのカラム数は最大 99 個です。<br>[EA01-20]                                             | CSV ファイルに出力する内容が 99 個設定されている状態で、追加項目を選択しました。CSV ファイルに出力する内容は 99 個以下で設定してください。 |
| 固定値を入力してください。<br>[EA02-8]                                                         | 「固定値」が設定されているときに、固定値が指定されていません。<br>半角 50 文字／全角 25 文字以内で設定してください。              |
| 固定値は 半角 50 文字、全角 25 文字以内で設定してください。<br>[EA02-7]                                    | 設定可能範囲外の文字数が設定されています。<br>半角 50 文字／全角 25 文字以内で設定してください。                        |
| 固定値に次の文字を使用することはできません。<br>: ; , * ? " < >   ¥ /<br>他の文字を入力してください。<br>[EA02-9]     | 固定値に使用できない文字列が指定されています。ファイル名に設定可能な文字列を設定してください。                               |
| 入力文字は 半角 50 文字、全角 25 文字以内で入力してください。<br>[EA02-10]                                  | 設定可能範囲外の文字数が設定されています。<br>半角 50 文字／全角 25 文字以内で設定してください。                        |
| 入力文字に次の文字を使用することはできません。<br>: ; , * ? " < >   ¥ /<br>他の文字を入力してください。<br>[EA02-11]   | ファイル名に使用できない文字列が指定されています。ファイル名に設定可能な文字列を設定してください。                             |
| 設定項目は 99 個以内で入力してください。<br>[EA02-13]                                               | ファイル名の設定項目が 99 個以上指定されています。ファイル名の項目は 99 個以内で設定してください。                         |

| メッセージ                                                                                                                                                                                                 | 説明・発生事由・対処方法                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>上書き設定が ON になっています。<br/>送信先に同名ファイルが存在する場合、出力されたファイルによって上書きされますのでご注意ください。</p> <p>[EA02-5]</p>                                                                                                        | <p>同名ファイルの上書きが設定されています。<br/>必要に応じて、設定を変更してください。</p>                                  |
| <p>単語帳を設定する権限がないため、単語帳の設定ができません。<br/>管理者へお問い合わせください。</p> <p>[EA00-8]</p>                                                                                                                              | <p>複合機が“ユーザー認証あり”に設定されているときは、ログインユーザー以外は単語帳を設定できません。詳細は、P.15「各機能の操作権限」を参照してください。</p> |
| <p>単語帳ファイルのインポートでエラーが発生しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SD カードが正しく装着されているか確認してください</li> <li>・ファイル名およびファイル配置が正しいか確認してください</li> <li>・ファイル内容が正しいか確認してください</li> </ul> <p>[EA030-4]</p>   | <p>単語帳ファイルのインポートでエラーが発生しました。<br/>メッセージに表示されている内容を確認してください。</p>                       |
| <p>単語帳ファイルのインポートでエラーが発生しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・USB メモリーが正しく装着されているか確認してください</li> <li>・ファイル名およびファイル配置が正しいか確認してください</li> <li>・ファイル内容が正しいか確認してください</li> </ul> <p>[EA030-4]</p> | <p>単語帳ファイルのインポートでエラーが発生しました。<br/>メッセージに表示されている内容を確認してください。</p>                       |
| <p>単語帳ファイルのインポートでエラーが発生しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単語は 48 個を超えて登録することができません。</li> <li>・単語が 48 個を超えないようにインポートしてください。</li> </ul> <p>[EA030-5]</p>                                 | <p>単語帳に登録できる単語は 48 個までです。</p>                                                        |
| <p>単語帳ファイルのインポートでエラーが発生しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単語は 半角 50 文字、全角 25 文字以内で設定してください。</li> </ul> <p>[EA030-6]</p>                                                                | <p>単語帳に登録する単語は半角 50 文字／全角 25 文字以内で設定してください。</p>                                      |

| メッセージ                                                                                                                                                                          | 説明・発生事由・対処方法                                                       |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| <p>単語帳ファイルのインポートでエラーが発生しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単語に次の文字を使用することはできません<br/>: ; , * ? " &lt; &gt;   ¥ /</li> </ul> <p>他の文字を使用してください。</p> <p>[EA030-7]</p> | <p>単語帳に登録できない文字列が含まれています。単語帳に設定可能な文字列を設定してください。</p>                |
| <p>単語帳ファイルのインポートで通信エラーが発生しました。</p> <p>接続先と通信ができるか確認してください。</p> <p>[EF00-18]</p>                                                                                                | <p>単語帳ファイルのインポートで通信エラーが発生しました。接続先と通信設定を確認してください。</p>               |
| <p>単語帳ファイルのインポートで認証に失敗しました。</p> <p>接続先の認証に利用するユーザー名、ドメイン名、パスワードを確認してください。</p> <p>[EF00-19]</p>                                                                                 | <p>接続先との認証に利用するユーザー名、ドメイン名、パスワードが正しく設定されていません。正しく設定してください。</p>     |
| <p>単語帳ファイルのインポートでフォルダー情報取得に失敗しました。</p> <p>接続先のフォルダーが存在するか確認してください。</p> <p>[EF00-20]</p>                                                                                        | <p>インポート元に指定されたフォルダーに接続できません。フォルダーを確認してください。</p>                   |
| <p>単語帳ファイルのインポートでエラーが発生しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ファイル名およびファイル配置が正しいか確認してください</li> <li>ファイル内容が正しいか確認してください</li> </ul> <p>[EF00-27]</p>                   | <p>単語帳ファイルのインポートでエラーが発生しました。</p> <p>メッセージに表示されている内容を確認してください。</p>  |
| <p>単語帳ファイルのエクスポートでエラーが発生しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SD カードが正しく装着されているか確認してください</li> <li>SD カードは書き込み可能にしてください</li> </ul> <p>[EA030-8]</p>                  | <p>単語帳ファイルのエクスポートでエラーが発生しました。</p> <p>メッセージに表示されている内容を確認してください。</p> |
| <p>単語帳ファイルのエクスポートでエラーが発生しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>USB メモリーが正しく装着されているか確認してください</li> <li>USB メモリーは書き込み可能にしてください</li> </ul> <p>[EA030-18]</p>             | <p>単語帳ファイルのエクスポートでエラーが発生しました。</p> <p>メッセージに表示されている内容を確認してください。</p> |

| メッセージ                                                                            | 説明・発生事由・対処方法                                                                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 単語帳に単語が登録されていません。<br>[EA030-9]                                                   | 単語帳に単語が登録されていないため、エクスポートできません。<br>単語の登録を確認してください。                                                                                       |
| 単語帳ファイルのエクスポートで通信エラーが発生しました。<br>接続先と通信ができるか確認してください。<br>[EF00-21]                | 単語帳ファイルのエクスポートで通信エラーが発生しました。接続先と通信設定を確認してください。                                                                                          |
| 単語帳ファイルのエクスポートで認証に失敗しました。<br>接続先の認証に利用するユーザー名、ドメイン名、パスワードを確認してください。<br>[EF00-22] | 接続先との認証に利用するユーザー名、ドメイン名、パスワードが正しく設定されていません。正しく設定してください。                                                                                 |
| 単語帳ファイルのエクスポートでフォルダー情報取得に失敗しました。<br>接続先のフォルダーが存在するか確認してください。<br>[EF00-23]        | エクスポート先に指定されたフォルダーに接続できません。フォルダーを確認してください。                                                                                              |
| 単語帳ファイルのエクスポートでエラーが発生しました。<br>[EF00-28]                                          | 単語帳ファイルのエクスポート中にエラーが発生しました。<br>再度エクスポートを実行してください。<br>エラーが解消されない場合は、機器管理者にお問い合わせください。                                                    |
| 他の機能で原稿読み取り中です。<br>[ES00-3]                                                      | 他のアプリケーションで原稿読み取り中の場合は、本アプリケーションはスキャンを実行できません。<br>原稿読み取りを中止するか完了してから、スキャンを実行してください。                                                     |
| バーコード解析初期化中に異常が発生しました。<br>スキャンしなおしてください。<br>[EB00-1]                             | バーコード解析初期化中にエラーが発生しました。<br>再度スキャンを実行してください。                                                                                             |
| バーコード解析に失敗しました。<br>最初からスキャンしなおしてください。<br>[EB00-2]                                | バーコードの解析中にエラーが発生しました。<br>再度スキャンを実行してください。<br>エラーが解消されない場合は、P.62「バーコードが読み取れないとき」を参照してください。                                               |
| スキャン枚数に端数があります。<br>最初からスキャンしなおしてください。<br>[EB00-3]                                | 〔区切り設定〕が〔指定枚数〕に設定され、〔指定端数がでたらエラーとする〕が選択されているときに、原稿の総枚数が指定枚数で割り切れない（端数のページがでた）場合は、スキャンファイルは保存されません。<br>設定を変更するか、原稿の枚数を変更してスキャンを実行してください。 |

| メッセージ                                                                                              | 説明・発生事由・対処方法                                                                                                                                                                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ファイルの生成に失敗しました。<br>最初からスキャンしなおしてください。<br>[EB00-4]                                                  | ファイルの生成中にエラーが発生しました。<br>再度スキャンを実行してください。<br>エラーが解消されない場合は、機器管理者にお問い合わせください。                                                                                                                                                             |
| A3 用紙ではスキャンできない条件となっているため、中止します。<br>スキャン条件を 300dpi にするか、グレースケールに変更してから再度スキャンしなおしてください。<br>[EB00-5] | 以下のスキャン条件が設定されているときに A3 サイズの原稿をスキャンした場合に、メッセージが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動サイズまたはサイズ混載</li> <li>• 白黒</li> <li>• 400dpi</li> <li>• ファイル形式が JPEG</li> </ul> 設定を変更し、再度スキャンを実行してください。                                |
| 通信エラーが発生しました。<br>送信先と通信ができるか確認してください。<br>[EF00-1]                                                  | 以下を確認してから、再度操作を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 複合機のネットワーク接続</li> <li>• コンピューターなどから送信先のフォルダーに接続可能かどうか（送信先フォルダーのアクセス権が変更された場合、接続できません。）</li> </ul>                                                                      |
| 認証に失敗しました。<br>送信先の認証に利用するユーザー名、ドメイン名、パスワードを確認してください。<br>[EF00-2]                                   | 〔送信先設定〕で、接続先のドメイン名、ユーザー名、パスワードを正しく設定してください。                                                                                                                                                                                             |
| 送信先のフォルダー情報取得に失敗しました。<br>送信先のフォルダーが存在するか確認してください。<br>[EF00-3]                                      | 通信エラーが発生、または送信先に指定したフォルダーが削除されています。<br>以下を確認してから、再度操作を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 複合機のネットワーク接続</li> <li>• コンピューターなどから送信先のフォルダーに接続可能かどうか（送信先フォルダーのアクセス権が変更された場合、接続できません。）</li> <li>• 送信先のフォルダーが存在するかどうか</li> </ul> |
| ファイル送信時に通信エラーが発生しました。<br>送信先と通信ができるか確認してください。<br>[EF00-5]                                          | 以下を確認してから、再度操作を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 複合機のネットワーク接続</li> <li>• コンピューターなどから送信先のフォルダーに接続可能かどうか（送信先フォルダーのアクセス権が変更された場合、接続できません。）</li> </ul>                                                                      |
| ファイル送信時の認証に失敗しました。<br>送信先の認証に利用するユーザー名、ドメイン名、パスワードを確認してください。<br>[EF00-6]                           | 送信先へログインできません。<br>〔送信先設定〕で、接続先のドメイン名、ユーザー名、パスワードを正しく設定してください。                                                                                                                                                                           |

| メッセージ                                                                                         | 説明・発生事由・対処方法                                                                                                                                                                                                                              |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>ファイル送信先のフォルダー情報取得に失敗しました。<br/>送信先のフォルダーが存在するか確認してください。<br/>[EF00-7]</p>                    | <p>通信エラーが発生、または送信先に指定したフォルダーが削除されています。<br/>以下を確認してから、再度操作を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複合機のネットワーク接続</li> <li>コンピューターなどから送信先のフォルダーに接続可能かどうか（送信先フォルダーのアクセス権が変更された場合、接続できません。）</li> <li>送信先のフォルダーが存在するかどうか</li> </ul> |
| <p>送信先のフォルダー情報取得に失敗しました。<br/>送信先フォルダー情報を初期化します。<br/>[EF00-8]</p>                              | <p>通信エラーが発生、または送信先に指定したフォルダーが削除されています。<br/>以下を確認してから、再度操作を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複合機のネットワーク接続</li> <li>コンピューターなどから送信先のフォルダーに接続可能かどうか（送信先フォルダーのアクセス権が変更された場合、接続できません。）</li> <li>送信先のフォルダーが存在するかどうか</li> </ul> |
| <p>読み取り中にエラーが発生しました。<br/>[ES00-1]</p>                                                         | <p>原稿のスキャン中にエラーが発生しました。<br/>再度スキャンを実行してください。<br/>エラーが解消されない場合は、機器管理者にお問い合わせください。</p>                                                                                                                                                      |
| <p>他の機能で原稿読み取り中です。<br/>[ES00-3]</p>                                                           | <p>他のアプリケーションで原稿読み取り中の場合は、本アプリケーションはスキャンを実行できません。<br/>原稿読み取りを中止するか完了してから、スキャンを実行してください。</p>                                                                                                                                               |
| <p>読み取り中に紙詰まりが発生しました。<br/>紙詰まりを解消し、原稿をセットし読み取りをスタートしてください。<br/>[ES00-4]</p>                   | <p>原稿のスキャン中に紙詰まりが発生しました。紙詰まりを解除し、原稿をセットし直してから、再度スキャンを実行してください。</p>                                                                                                                                                                        |
| <p>原稿サイズが不明です。<br/>原稿を置きなおして、〔継続〕を押してください<br/>[ES00-6]</p>                                    | <p>原稿のスキャンに失敗しました。<br/>原稿をセットし直してから、再度スキャンを実行してください。</p>                                                                                                                                                                                  |
| <p>現在の〔読み取りサイズ〕の設定では原稿ガラスを使った読み取りができません。<br/>自動原稿送り装置に原稿をセットして読み取りを実行してください。<br/>[ES00-7]</p> | <p>〔原稿サイズ〕で〔不定形自動検知（同一サイズ）〕または〔不定形自動検知（サイズ混載）〕が選択されているときに、自動原稿送り装置に原稿がセットされていません。<br/>自動原稿送り装置に原稿をセットしてスキャンを実行してください。</p>                                                                                                                 |

## 管理者認証番号設定時

| メッセージ                              | 説明・発生事由・対処方法                                                 |
|------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 新しい管理者認証番号を入力してください。               | 管理者認証番号が入力されていません。<br>管理者認証番号を入力してください。                      |
| 新しい管理者認証番号は 4～8 桁で入力してください。        | 4～8 桁の数字が設定されていません。<br>4～8 桁の数字を設定してください。                    |
| 新しい管理者認証番号（確認用）を入力してください。          | 新しい管理者認証番号（確認用）が入力されていません。<br>管理者認証番号を入力してください。              |
| 新しい管理者認証番号と新しい管理者認証番号（確認用）が一致しません。 | 〔新しい管理者認証番号〕と〔新しい管理者認証番号（確認用）〕に入力した値が一致しません。<br>正しく入力してください。 |

## 業務ボタンとアプリケーション設定のインポート／エクスポート時

| メッセージ                                                                                    | 説明・発生事由・対処方法                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 設定・利用ログをインポート/エクスポートする権限がないため、設定・利用ログのインポート/エクスポートができません。<br>管理者へお問い合わせください。<br>[EA00-9] | 複合機が“ユーザー認証あり”に設定されているときは、ログインユーザーは設定・利用ファイルのインポート/エクスポートはできません。機器管理者で実行してください。詳細は、P.15「各機能の操作権限」を参照してください。 |
| 設定ファイルのインポートで通信エラーが発生しました。<br>接続先と通信ができるか確認してください。<br>[EF00-9]                           | 設定ファイルのインポートで通信エラーが発生しました。接続先と通信設定を確認してください。                                                                |
| 設定ファイルのインポートで認証に失敗しました。<br>接続先の認証に利用するユーザー名、ドメイン名、パスワードを確認してください。<br>[EF00-10]           | 接続先との認証に利用するユーザー名、ドメイン名、パスワードが正しく設定されていません。正しく設定してください。                                                     |
| 設定ファイルのインポートでフォルダー情報取得に失敗しました。<br>接続先のフォルダーが存在するか確認してください。<br>[EF00-11]                  | インポート元に指定されたフォルダーに接続できません。フォルダーを確認してください。                                                                   |

| メッセージ                                                                                                                                                                                               | 説明・発生事由・対処方法                                                                                                            |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>設定ファイルのインポートでエラーが発生しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDカードが正しく装着されているか確認してください</li> <li>・ファイル名およびファイル配置が正しいか確認してください</li> <li>・ファイル内容が正しいか確認してください</li> </ul> <p>[EA030-1]</p>   | <p>業務ボタンとアプリケーション設定のインポート時にエラーが発生しました。メッセージの内容を確認し、エラーの原因を解決してください。</p> <p>原因を解決してもエラーが解消されない場合は、機器管理者にお問い合わせください。</p>  |
| <p>設定ファイルのインポートでエラーが発生しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・USBメモリーが正しく装着されているか確認してください</li> <li>・ファイル名およびファイル配置が正しいか確認してください</li> <li>・ファイル内容が正しいか確認してください</li> </ul> <p>[EA030-1]</p> | <p>業務ボタンとアプリケーション設定のインポート時にエラーが発生しました。メッセージの内容を確認し、エラーの原因を解決してください。</p> <p>原因を解決してもエラーが解消されない場合は、機器管理者にお問い合わせください。</p>  |
| <p>設定ファイルのインポートでエラーが発生しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイル名およびファイル配置が正しいか確認してください</li> <li>・ファイル内容が正しいか確認してください</li> </ul> <p>[EF00-24]</p>                                       | <p>設定ファイルのインポートでエラーが発生しました。</p> <p>メッセージに表示されている内容を確認してください。</p>                                                        |
| <p>設定ファイルのエクスポートでエラーが発生しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDカードが正しく装着されているか確認してください</li> <li>・SDカードは書き込み可能にしてください</li> </ul> <p>[EA030-2]</p>                                        | <p>業務ボタンとアプリケーション設定のエクスポート時にエラーが発生しました。メッセージの内容を確認し、エラーの原因を解決してください。</p> <p>原因を解決してもエラーが解消されない場合は、機器管理者にお問い合わせください。</p> |
| <p>設定ファイルのエクスポートでエラーが発生しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・USBメモリーが正しく装着されているか確認してください</li> <li>・USBメモリーは書き込み可能にしてください</li> </ul> <p>[EA030-2]</p>                                    | <p>業務ボタンとアプリケーション設定のエクスポート時にエラーが発生しました。メッセージの内容を確認し、エラーの原因を解決してください。</p> <p>原因を解決してもエラーが解消されない場合は、機器管理者にお問い合わせください。</p> |
| <p>設定ファイルのエクスポートで通信エラーが発生しました。</p> <p>接続先と通信ができるか確認してください。</p> <p>[EF00-12]</p>                                                                                                                     | <p>設定ファイルのエクスポートで通信エラーが発生しました。接続先と通信設定を確認してください。</p>                                                                    |

| メッセージ                                                                                          | 説明・発生事由・対処方法                                                                                     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 設定ファイルのエクスポートで認証に失敗しました。<br>接続先の認証に利用するユーザー名、ドメイン名、パスワードを確認してください。<br>[EF00-13]                | 接続先との認証に利用するユーザー名、ドメイン名、パスワードが正しく設定されていません。正しく設定してください。                                          |
| 設定ファイルのエクスポートでフォルダー情報取得に失敗しました。<br>接続先のフォルダーが存在するか確認してください。<br>[EF00-14]                       | エクスポート先に指定されたフォルダーに接続できません。フォルダーを確認してください。                                                       |
| 設定ファイルのエクスポートでエラーが発生しました。<br>[EF00-25]                                                         | 設定ファイルのエクスポート中にエラーが発生しました。<br>再度エクスポートを実行してください。<br>エラーが解消されない場合は、機器管理者にお問い合わせください。              |
| 利用ログのエクスポートでエラーが発生しました。<br>・SDカードが正しく装着されているか確認してください<br>・SDカードは書き込み可能にしてください<br>[EA030-3]     | 利用ログのエクスポート時にエラーが発生しました。メッセージの内容を確認し、エラーの原因を解決してください。<br>原因を解決してもエラーが解消されない場合は、機器管理者にお問い合わせください。 |
| 利用ログのエクスポートでエラーが発生しました。<br>・USBメモリーが正しく装着されているか確認してください<br>・USBメモリーは書き込み可能にしてください<br>[EA030-3] | 利用ログのエクスポート時にエラーが発生しました。メッセージの内容を確認し、エラーの原因を解決してください。<br>原因を解決してもエラーが解消されない場合は、機器管理者にお問い合わせください。 |
| 利用ログのエクスポートで通信エラーが発生しました。<br>接続先と通信ができるか確認してください。<br>[EF00-15]                                 | 利用ログのエクスポートで通信エラーが発生しました。接続先と通信設定を確認してください。                                                      |
| 利用ログのエクスポートで認証に失敗しました。<br>接続先の認証に利用するユーザー名、ドメイン名、パスワードを確認してください。<br>[EF00-16]                  | 接続先との認証に利用するユーザー名、ドメイン名、パスワードが正しく設定されていません。正しく設定してください。                                          |

| メッセージ                                                                  | 説明・発生事由・対処方法                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 利用ログのエクスポートでフォルダー情報取得に失敗しました。<br>接続先のフォルダーが存在するか確認してください。<br>[EF00-17] | エクスポート先に指定されたフォルダーに接続できません。フォルダーを確認してください。                                        |
| 利用ログのエクスポートでエラーが発生しました。<br>[EF00-26]                                   | 利用ログのエクスポート中にエラーが発生しました。<br>再度エクスポートを実行してください。<br>エラーが解消されない場合は、機器管理者にお問い合わせください。 |
| 業務ボタンが登録されていません。<br>[EA030-10]                                         | 業務ボタンが登録されていないため、エクスポートできません。<br>業務ボタンの登録を確認してください。                               |

## エラー文字列

バーコードの情報をファイル名またはテキストファイルに保存する場合に、バーコード情報の出力に失敗した場合は、読み取ったバーコードの文字列に“エラー番号\_エラー文字列”が出力されます。

| エラー文字列                           | エラー内容                 |
|----------------------------------|-----------------------|
| 1_ERRORCheckDigit                | チェックデジット不適合           |
| 2_ERRORCannotDecode              | デコード不能                |
| 3_ERRORDecoding                  | デコード途中のエラー            |
| 4_ERRORUnknownBC                 | 不明なバーコード              |
| 5_ERRORLength                    | 桁数エラー                 |
| 6_ERRORIllegalParam              | デコードパラメーターの不正         |
| 8_ERRORBCNotFound                | バーコードが見つからない          |
| 9_ERRORCodeSpec                  | コード仕様エラー              |
| 100_ERRORDecodeBuffer            | デコードバッファエラー           |
| 101_ERRORAllocateBuffer          | 内部バッファが確保不能           |
| 900_ERRORIllegalAreaParam        | バーコード認識領域が不正          |
| 901_ERRORIllegalAreaParamSizeMix | 原稿サイズ混載時のバーコード認識領域が不正 |

## バーコードが読み取れないとき

バーコードの読み取りに失敗する場合、以下の原因が考えられます。

- バーコードが小さい、汚い
- バーコードがないページも含め、すべてのページを読み取り対象としている
- CODE39 のスタート／ストップコード処理の不正による桁数エラー
- バーコードが不正（スタート／ストップコードが含まれていないなど）
- [領域指定] 使用時の、指定値によるエラー
- 余白の設定値がバーコードの白バーより小さい
- QR コードの作成時、QR コードのサイズ（バージョン）を小さくするために、誤り訂正レベルを低く設定した

以下の対処によって、読み取り可能となることがあります。

- バーコードが小さい場合、解像度を 400dpi に設定してスキャンする
- バーコードがぼやけている場合（インクジェット印刷など）、読み取りモードを「白黒（文字・図形）」に設定してスキャンする
- 濃度設定を変更（濃くまたは薄く）してスキャンする
- バーコードの大きさを調整する（黒バー／白バー（エレメント）のサイズを大きくする、QR コードの誤り訂正レベルを上げてサイズを大きくするなど）

## バーコードの読み取り速度が遅いとき

以下の対処によって、バーコードの読み取り速度が改善することがあります。

- [領域指定] でバーコードの読み取り領域を指定してスキャンする
- スキャン原稿が複数枚の場合は、[区切り設定] の設定を [バーコード出現ごと] から [指定枚数] に変更してスキャンする
- 読み取り対象のバーコードの種類を複数選択している場合は、1 つにしてスキャンする

# 7. 付録

## 初期設定

### 業務ボタン

業務ボタンの各設定項目の初期設定は下記となります。

### 業務ボタン登録

[業務ボタン名入力]：

| 項目        | 初期設定  |
|-----------|-------|
| 業務ボタン名    | 空の文字列 |
| 起動時優先画面表示 | しない   |

[スキャン条件設定]：

| 項目         | 初期設定                                                                                                                                                                                                                                                          |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 原稿サイズ      | <ul style="list-style-type: none"><li>• A4 サイズ対応機種：A4□</li><li>• A3 サイズ対応機種：自動検知</li></ul>                                                                                                                                                                    |
| 原稿設定方法     | 同じ幅の原稿                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 原稿種類       | 白黒（文字・図表）                                                                                                                                                                                                                                                     |
| ドロップアウトカラー | しない                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 消去したい色の幅   | Level3                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 解像度        | 400dpi                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 濃度         | 自動濃度、濃度 4                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 原稿送り       | <ul style="list-style-type: none"><li>• A4 サイズ対応機種：</li><li>• A3 サイズ対応機種：</li></ul> |
| 原稿面        | 片面                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 原稿厚さ       | 標準                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 白紙除去       | しない                                                                                                                                                                                                                                                           |

## [送信先設定]：

| 項目       | 初期設定  |
|----------|-------|
| 送信先ホスト   | 空の文字列 |
| ドメイン名    | 空の文字列 |
| ユーザー名    | 空の文字列 |
| パスワード    | 空の文字列 |
| 送信先フォルダー | 未選択   |

## [バーコード設定]：

| 項目      | 初期設定       |
|---------|------------|
| バーコード種別 | バーコード（1次元） |

## [1次元バーコード設定]：

| 項目       | 初期設定                                                                                                                                                                      |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| バーコード    | 未選択                                                                                                                                                                       |
| チェックデジット | <ul style="list-style-type: none"> <li>• JAN：m10w3</li> <li>• ITF：しない</li> <li>• NW-7：しない</li> <li>• Code39：しない</li> <li>• Code128：m103</li> <li>• EAN128：m103</li> </ul> |
| 桁数       | 0                                                                                                                                                                         |

## [バーコード認識領域設定]：

| 項目       | 初期設定                                                                            |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 読み取り開始位置 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• X（mm）：0</li> <li>• Y（mm）：0</li> </ul>  |
| 読み取りサイズ  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 幅（mm）：0</li> <li>• 高さ（mm）：0</li> </ul> |

## [共通設定]：

| 項目     | 初期設定 |
|--------|------|
| ファイル形式 | PDF  |
| 区切り設定  | 指定枚数 |

| 項目             | 初期設定                                                                                                               |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 区切り指定枚数        | 1                                                                                                                  |
| 指定端数がでたらエラーとする | 未選択                                                                                                                |
| バーコード情報分割      | 文字区切り                                                                                                              |
| ファイル名          | <ul style="list-style-type: none"> <li>• ファイル名：[バーコード全体] _ [日付時刻]</li> <li>• セパレータ：_</li> <li>• 連番付け：連番</li> </ul> |
| 認識結果           | テキストファイル                                                                                                           |
| 上書き            | しない                                                                                                                |
| 合紙削除           | しない                                                                                                                |
| チェック出力         | 含める                                                                                                                |
| Start/StopCode | 含めない                                                                                                               |
| 余白ドット数         | 40                                                                                                                 |

【共通設定】 > 【テキスト付 PDF 設定】：

| 項目   | 初期設定 |
|------|------|
| 白紙除去 | しない  |
| 認識言語 | 日本語  |

【共通設定】 > 【CSV ファイルフォーマット設定】：

| 項目     | 初期設定                |
|--------|---------------------|
| フォーマット | [ファイル名] , [バーコード全体] |

【共通設定】 > 【フォルダー振り分け設定】：

| 項目          | 初期設定              |
|-------------|-------------------|
| フォルダー振り分け設定 | バーコード全体をフォルダー名とする |

## 管理メニュー

〔 管理メニュー〕の各設定項目の初期設定は下記となります。

〔共通設定〕：

| 項目        |             | 初期設定 |
|-----------|-------------|------|
| 管理者認証番号設定 | 管理者認証を有効にする | 選択   |
|           | 新しい管理者認証番号  | 0000 |

## 対応原稿サイズ

カンタンバーコード活用は、下記の原稿サイズに対応しています。お使いの複合機が対応していないサイズは使用できません。

- A3 横\*1
- A4 縦／横\*3
- A5 縦／横
- A6 縦／横\*1
- A7 横\*1
- B4 横\*1
- B5 縦／横\*3
- B6 縦／横\*1
- B7 縦／横\*1
- B8 横\*1
- 8½×14 横
- 8½×13⅔ 横\*2
- 8½×13 横\*2
- 8½×11 縦／横
- 5½×8½ 縦／横\*2
- 郵便はがき 縦／横
- 不定形サイズ
  - A4 サイズ対応機種に対応サイズ（縦×横）  
最小：10 mm×10 mm  
最大：216 mm×356 mm
  - A3 サイズ対応機種に対応サイズ（縦×横）  
最小：10 mm×10 mm  
最大：297 mm×432 mm

\*1 A3 サイズ対応機種のみ対応

\*2 A4 サイズ対応機種のみ対応

\*<sup>3</sup> A4 サイズ対応機種は「横」のみ対応

#### ★ 重要

- A4 サイズ対応機種で A4 縦または B5 縦サイズ of 原稿をスキャンする際は、「左 90 度回転 (🔄)」設定を選択し、原稿ガラスまたは ADF に原稿を横向きにセットしてスキャンを実行してください。

#### ↓ 補足

- 「郵便はがき」を選択した場合は、ADF を使ってスキャンできません。

## 制限事項

カンタンバーコード活用の制限事項は下記のとおりです。

### 環境

- 本アプリケーションは、共有フォルダーへの送信時のプロトコルとして SMB を使用します。あらかじめ、送信先コンピューターの Windows ファイアウォールの設定で「ファイルとプリンタの共有」を許可する必要があります（ポート 445 受信設定）。
- 本アプリケーションがサポートするフォルダー数は 500 までです。
- スキャンデータの送信先には、パスワードが設定されているコンピューターを使用してください。

7

### 複合機の標準機能との差異について

#### 本アプリケーションが対応していない機能

- 200dpi、300dpi、400dpi 以外の解像度
- 自動カラーの原稿種別
- 逆方向の原稿向き（2 方向にのみ対応しています。）
- スキャン済スタンプ設定
- プログラム機能
- 次原稿スキャン時の指定時間待機
- SADF、大量原稿の設定
- 見開き原稿、片面、両面混在原稿の読み取り
- 両面原稿最終ページの片面指定
- 白黒原稿の TIFF 形式の MH/MR 圧縮（白黒原稿の TIFF 形式は必ず MMR 圧縮となります。）
- 反転、ミラー機能
- 自動原稿送り装置（ADF）の薄紙原稿指定
- 倍率指定変倍、サイズ指定変倍
- センター消去、枠消去

- 部分読み取り
- 文書読み取り待機中（次原稿待ち停止中）の読み取り条件と読み取り動作設定の変更

## 複合機の機種による違い

- 原稿サイズ自動検知
- 原稿サイズ

| 機種         | 対応サイズ                                                                                           |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A4 サイズ対応機種 | A4□、A5□、A5□、B5□、8½×14□、8½×13½□、8½×13□、8½×11□、5½×8½□、5½×8½□、郵便はがき□、不定形                           |
| A3 サイズ対応機種 | A3□、A4□、A4□、A5□、A5□、A6□、A6□、A7□、B4□、B5□、B5□、B6□、B6□、B7□、B7□、B8□、8½×14□、8½×11□、8½×11□、郵便はがき□、不定形 |

\* 複合機が機能をサポートしている場合のみ

## その他

### 7

- 本アプリケーションの起動中に、複合機の初期設定変更および言語切り替えを行わないでください。実行した場合は、複合機の再起動が必要です。
- 複合機の IP アドレスを変更した場合は、複合機の主電源を切ってから、再起動が必要です。
- 本アプリケーションの対応言語は「日本語」のみです。言語切り替えには対応していません。
- 本アプリケーションと、複合機のスキャナー機能（コピー機能含む）を同時に利用することはできません。
- 複合機の時刻設定が適切でない場合、本アプリケーションの正常動作を保証できません。
- アプリケーションの実行中（印刷中を含む）に複合機の電源を切った場合の動作は保証しません。
- 本アプリケーション表示中は、複合機の印刷優先機能の設定は無効です。
- 本アプリケーションは、複合機の HDD 残存データ消去の上書き消去（逐次消去／一括消去）の対象ではありません。
- 本アプリケーションでスキャンしたデータは、複合機の HDD 残存データ消去の上書き消去（逐次消去／一括消去）の対象となります。
- 本アプリケーションソフトウェアは、複合機 1 台でのみ使用することができます。
- 本アプリケーションソフトウェアは、機器変更できません。
- 本アプリケーションは、Distributed File System には対応していません。
- 本アプリケーションはマルチタッチには対応していません。
- 複合機の設定に関わらず、本アプリケーションでスキャン実行中（スキャン開始からファイル送信完了まで）は、省エネモードへの移行、システムオートリセット、ログ

- アウト、オフライン移行はされません。
- ユーザーコード認証には対応していません。
  - 複合機に装着されているネットワークインターフェースカードが1枚の場合のみ対応します。
  - 複合機に装着されているネットワークインターフェースカードに複数のIPアドレスが設定された場合、先頭のIPアドレスが対象となります。
  - NetBIOS名で指定する場合は、アプリケーションからのNetBIOS名前解決に対応したファームウェアがお使いの複合機に適用されている必要があります。
  - 複合機の配信履歴が満杯になった場合の動作は、複合機の設定に準拠します。
  - 複合機の「戻る」キー無効化設定には対応していません。
  - 原稿のスキャン中に複合機の電源を切った場合の動作は保証しません。電源を切った場合は、原稿のスキャンを最初からやり直してください。
  - 原稿ガラスに原稿をセット、または取り除く場合は原稿カバーまたは自動原稿送り装置(ADF)を確実に開いてください。
  - 自動原稿送り装置(ADF)で原稿をスキャンする場合、1回あたりの最大読み取り枚数は、自動原稿送り装置(ADF)の最大積載枚数に準拠します。
  - 次原稿スキャンの待機時間は、複合機の設定に従います。
  - MultiLink-Panelの音が有効の場合、コンタクトガラスでの読み取り実行を行うと、原稿取り忘れ防止ビープ音が鳴ります。
  - スキャン実行後は、途中で操作をキャンセルできません。
  - スキャン送信中にネットワーク切断が発生した場合、タイムアウトまで最大15分程度かかることがあります。
  - 複数の複合機から同一のフォルダーにスキャンデータを送信する場合は、上書きしない設定とし、同一ファイル名が発生しないようにしてください。
  - 送信先フォルダーは、Windowsでファイル名、フォルダー名として利用できない文字やJIS補助漢字(JIS X 0212)には対応していません。
  - バーコードの情報をファイル名またはフォルダー名、またはCSVファイルに保存する場合、Windowsでファイル名、フォルダー名として利用できない文字や制御文字は、禁則文字として“\_”(アンダースコア)へ置換されます。
  - Windows共有フォルダー使用時に指定するユーザーアカウント名は、20文字以内で設定してください。またパスワードは1文字以上を設定してください。
  - 本アプリケーションは、複合機の初期設定の「ドメイン名」の値は取得できません。
  - 送信先のコンピューターに常駐しているウイルス対策ソフトやセキュリティソフトの設定によっては、本アプリケーションが使用できない場合があります。
  - USB端子に、キーボード、マウス、テンキーなどの入力機器を接続した状態での利用はサポートしていません。
  - プロポーショナルフォントの特性により、文字列中に横幅の広い文字を多数利用した場合、表示が乱れる場合があります。
  - ユーザー認証機能による利用制限は、アプリケーションごとの制限はできません。
  - 複合機の「ユーザー認証管理」で、ログインユーザーのスキャン機能の利用が制限されている場合は、スキャンを実行するとエラーとなります。
  - 複合機のアプリケーション別認証設定で、本アプリケーションの利用を制限されているユーザーは、本アプリケーションを利用できません。

- ファイル保存先には十分な空き容量を確保してください。
- HDD 残存データ消去の一括消去を行う前に、必ず本アプリケーションをアンインストールしてください。
- アプリケーション設定や利用ログのエクスポートには、64 MB 以上の空き容量がある SD カードを使用してください。本アプリケーションからエクスポートしたファイルの編集はできません。編集したファイルをインポートした場合、本アプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。絶対に編集しないでください。
- スキャン原稿の状態やスキャンの方法、バーコードの種類や配置によって、バーコード読み取りが制限される場合があります。
- OCR 機能を利用する場合、複合機で OCR 変換が完了するまでスキャン実行中となるため、通常のスキャン実行処理より待機時間が長くなります。
- テキスト付 PDF を利用する場合、以下のスキャン条件設定では、バーコード解析時の解像度がスキャン条件で設定した解像度よりも下がります（出力されるファイルの解像度は、スキャン条件で設定した解像度のままとまります）。
  - [原稿サイズ]：8½×14、[解像度]：400dpi
  - [原稿サイズ]：8½×13⅝、[解像度]：400dpi
  - [原稿サイズ]：8½×13、[解像度]：400dpi
  - [原稿サイズ]：A3、[解像度]：300dpi
  - [原稿サイズ]：不定形、[解像度]：300dpi または 400dpi（設定した原稿サイズによって異なります。）

# お問い合わせ先

操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

電話でのお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、下記のダイヤルまたは販売店にご連絡ください。

イチイチイチ  
**0120-892-111**

受付時間：平日（月～金）9時～17時（土日、祝祭日、弊社休業日を除く）

※お問合せの内容・発信者番号は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただきます。

※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

Webでのお問い合わせ

ホームページからお問い合わせ・ご相談を承っております。

<http://www.ricoh.co.jp/contact/product.html>



